

## デジタル活用事例集（これまでの取組例）

No.	内 容	部 局	ページ
1	S N S を活用した県政情報の発信	知事直轄組織	1
2	ふじのくにメディアチャンネルでの情報発信	知事直轄組織	1
3	県政インターネットモニター調査	知事直轄組織	2
4	オープンデータの推進	知事直轄組織	2
5	光ファイバ網未整備地域の格差是正	知事直轄組織	3
6	市町における自治体クラウドの導入支援	知事直轄組織	3
7	ふじのくに自治体情報ネットワーク構築	知事直轄組織	4
8	I C T の専門家による情報リテラシー向上	知事直轄組織	4
9	庁内セキュリティ水準の向上	知事直轄組織	5
10	複雑化した情報ネットワークやシステムの見直し	知事直轄組織	5
11	行政手続きのオンライン化による事務の効率化	知事直轄組織	6
12	R P A (Robotic Process Automation) の導入	知事直轄組織	6
13	音声認識技術を活用した議事録等の自動作成	知事直轄組織	7
14	多様な働き方に対応したテレワークを推進	知事直轄組織	7
15	ウェブアクセシビリティの向上	知事直轄組織	8
16	県統計情報サイト「統計センターしずおか」の運用	知事直轄組織	8
17	自治体職員向け E B P M 研修の実施	知事直轄組織	9
18	全国瞬時警報システム(Jアラート)の新型受信機への更新	危機管理部	9
19	被災者生活再建支援業務へのシステム導入	危機管理部	10
20	静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」の普及	危機管理部	10
21	防災情報の共有機能の強化	危機管理部	11
22	ふじのくに防災情報共有システムの改修	危機管理部	11
23	避難車両検査自動化システムの開発	危機管理部	12
24	コンビニ交付サービスの導入支援	経営管理部	12
25	マイナンバーカードの交付率向上に向けた取組	経営管理部	13

26	情報基盤を活用した市町の取組への支援	知事直轄組織 (経営管理部)	13
27	オンライン移住相談センターを開設	くらし・環境部	14
28	多言語に対応したタブレットの配備	くらし・環境部	14
29	温暖化防止アプリ「クルポ」の運営	くらし・環境部	15
30	新たな生活様式に対応した文化施設等の取組	スポーツ・文化観光部	15
31	「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」の取組の充実	スポーツ・文化観光部	16
32	旅行者等のデータ収集・分析による地域全体の魅力向上	スポーツ・文化観光部	16
33	医療ビッグデータの分析・活用	健康福祉部	17
34	I C Tを活用した介護業務の効率化・省力化	健康福祉部	17
35	児童の安全確認や保護者との面談等にI C Tを活用	健康福祉部	18
36	インターネットやS N Sを活用した自殺対策	健康福祉部	18
37	「ふじのくにねっと」の整備支援	健康福祉部	19
38	「医療ネットしずおか」の運用	健康福祉部	19
39	「シズケア*かけはし（静岡県地域包括ケア情報システム）」の活用	健康福祉部	20
40	新たな生活様式に対応した健康づくりや社会参加を推進	健康福祉部	20
41	技術情報Webサイトによる県内企業のマッチング・協業促進	経済産業部	21
42	工業技術研究所に「I o T推進ラボ」を設置	経済産業部	21
43	農林水産物の機能性に関するデータベースの公開	経済産業部	22
44	新芽の画像から茶の生育ステージを推定	経済産業部	22
45	ドローンを利用した松枯れ被害調査・無人ヘリコプターを活用した薬剤散布技術	経済産業部	23
46	駿河湾漁海況情報ネットワークシステムの構築	経済産業部	23
47	成長分野における製品開発・事業化支援	経済産業部	24
48	中小企業へのテレワーク導入支援	経済産業部	24
49	本県で活躍したいと思う若者の増加に向けた取組	経済産業部	25
50	技術専門校での情報処理技術者育成支援	経済産業部	25
51	A O I（アグリオープンイノベーション）プロジェクトの推進	経済産業部	26
52	温州みかん産地におけるスマート農業の実証	経済産業部	26

53	位置、傾斜勾配などの茶園情報をG I Sで可視化	経済産業部	27
54	スマート農業技術の導入により茶業経営を省力化	経済産業部	27
55	遠隔制御システムの導入により水管理労力を軽減	経済産業部	28
56	リモートセンシング技術を活用した地籍調査	経済産業部	28
57	G I Sを活用した水田での野菜栽培可能地のゾーニング	経済産業部	29
58	G I Sを活用した柑橘園の生産性向上を図るゾーニング	経済産業部	29
59	「ふじのくに林業イノベーションフォーラム」の設立	経済産業部	30
60	三保松原の松林管理システムの開発	経済産業部	30
61	G I Sを活用した情報の共有	交通基盤部	31
62	仮想3次元静岡県構想(VIRTUAL SHIZUOKA)	交通基盤部	31
63	I C T活用工事の実施と効果の周知	交通基盤部	32
64	自動運転実証実験の実施	交通基盤部	32
65	危機管理型水位計の導入とデータ提供	交通基盤部	33
66	G I Sを活用した管路情報システムの利用推進	企業局	33
67	製薬会社向け治験情報リモート閲覧システムの稼働	がんセンター局	34
68	退院患者フォローアップのためのカルテ閲覧システム	がんセンター局	34
69	電子カルテシステム等の利用による業務効率化	がんセンター局	35
70	「手話通訳」を挿入した中継映像の配信	議会事務局	35
71	I C Tスキルに係る「スーパー先生」による講義の共有	教育委員会	36
72	G I G Aスクール構想の実現に向けた取組	教育委員会	36
73	県立学校統一の校務支援システムの導入	教育委員会	37
74	学校、家庭、地域が連携した情報モラルの育成	教育委員会	37
75	統合ファイルサーバの構築	教育委員会	38
76	R F I Dを利用した蔵書管理の推進	教育委員会	38
77	閲覧者ファーストの情報提供	教育委員会	39

# ソーシャルメディアの活用

<知事直轄組織>

## S N S を活用した県政情報の発信

- 各SNS（Twitter、LINE、Instagram等）を活用し、県政情報の発信を行っている。
- 2020年にはLINE公式アカウントを開設し、興味関心に合わせたプッシュ型の配信の実施や、ふじっぴーの公式Instagramアカウントを開設した。
- 健康福祉部後藤参事の動画をSNSに投稿するなどして新型コロナウイルス感染症の注意喚起を行った。



# ふじのくにメディアチャンネル等による動画コンテンツの発信

〈知事直轄組織〉

## ふじのくにメディアチャンネルでの情報発信

- 県民への主体的な情報発信の仕組みとして、動画サイト「ふじのくにメディアチャンネル」と公式YouTubeチャンネルを運営
- 知事記者会見のライブ配信やコロナ関連情報、県職員出演のお仕事動画、その他県作成の動画をいつでも手軽に見られる。



# インターネットを活用し県民意向を速やかに県政へ反映 ＜知事直轄組織＞

## 県政インターネットモニター調査

- 即時性のあるインターネットを活用したアンケート調査（県政インターネットモニターアンケート調査）の実施
- 県政に対する県民からの意見を県ホームページや電子メールなど多様な手段により入手

### 県民だよりに係るインターネットの利用状況

担当 知事戦略局 広聴広報課  
電話 054-221-2233  
FAX 054-254-4032  
メール PR@pref.shizuoka.lg.jp

### 問1 必須

あなたはどのような方法で暮らしに関する情報などを入手していますか。（複数回答可）

- 1 新聞
- 2 テレビ
- 3 ラジオ
- 4 週刊誌など雑誌
- 5 フリーペーパー
- 6 市町広報紙
- 7 県広報紙
- 8 回覧板
- 9 ウェブサイト（パソコン）
- 10 ウェブサイト（スマートフォン）
- 11 SNS（LINE、Twitter、Facebookなど）
- 12 その他

# 民産学官連携によるICT利活用イノベーション

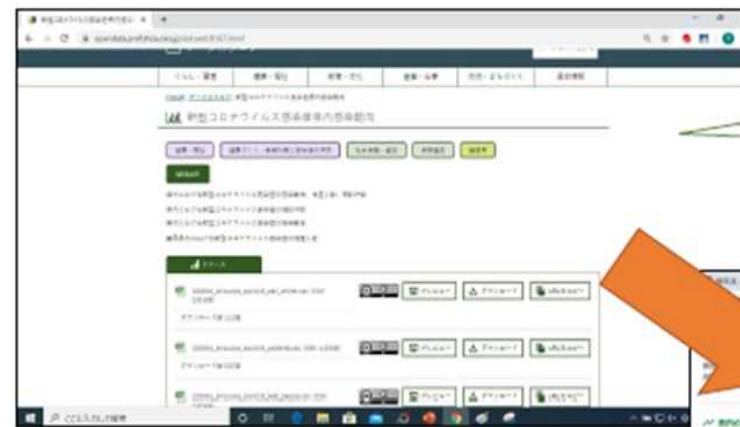
<知事直轄組織>

## オープンデータ推進

- 県及び県内市町が保有するデータのオープンデータ化
- 官民データ利活用による諸課題の解決や利用ニーズを把握
- アイデアソンやハッカソンを開催し、県民参加によるデータ活用の場を提供

### 5. オープンデータ活用事例

- ・令和2年4月17日から新型コロナウイルス感染症情報をオープンデータとしてふじのくにオープンデータカタログに掲載。
- ・Code for ふじのくに（民間団体）がオープンデータを活用し、「静岡県版新型コロナウイルス対策サイト」を作成。
- ・データはAPI連携により自動更新が可能。



ふじのくにオープンデータカタログ

静岡県版新型コロナウイルス対策サイト



# 超高速ブロードバンドの整備促進

＜知事直轄組織＞

## 光ファイバ網未整備地域の格差是正

- 県と市町の協働による補助事業を実施し整備を推進
- 超高速ブロードバンド世帯カバー率は、県総合計画後期アクションプランの数値目標を達成  
(令和2年度目標：98.9%)
- 山間地域等、光ファイバ網未整備地域について、都市部との通信格差の是正を図る。

■ : 光ファイバ網整備済地域



令和2年度末世帯カバー率：98.9%

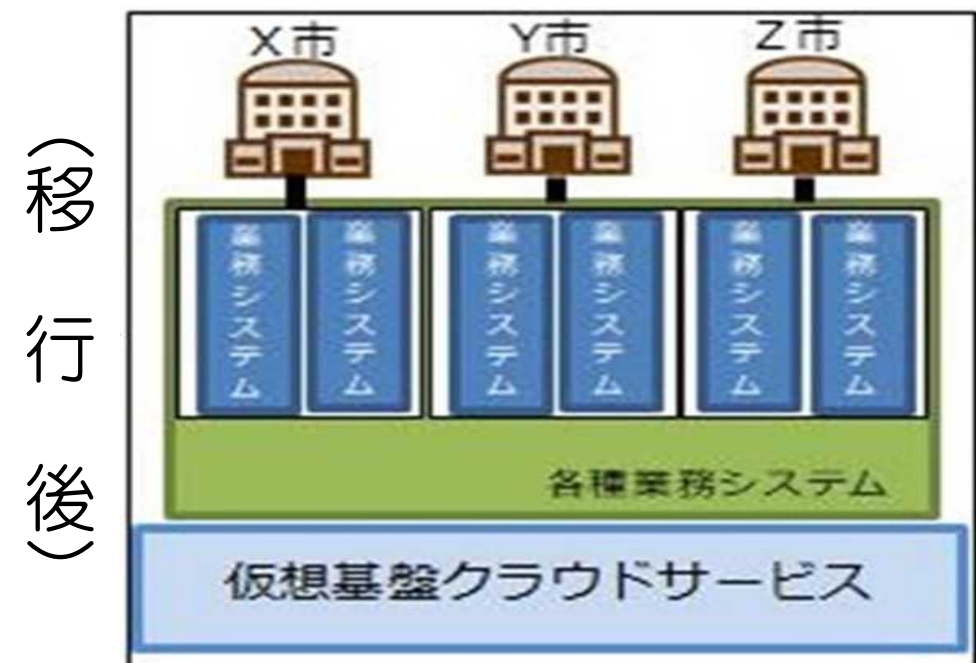
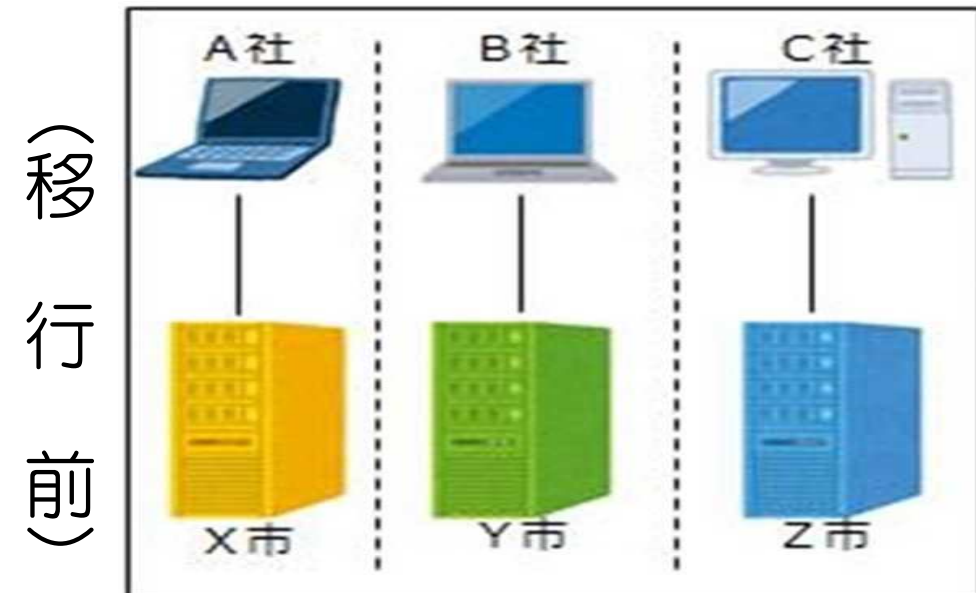


# 県内市町の自治体クラウドの促進

<知事直轄組織>

## 市町における自治体クラウドの導入支援

- 「自治体クラウド」とは複数の自治体が共通する業務の基幹系システムを集約し、共同利用するシステムの形態
- 県内では4グループ11市町が自治体クラウドに移行済み。  
(令和3年4月時点)
- 国が進める自治体情報システム標準化とGov-Cloud利用の取組について、市町への支援を検討していく。



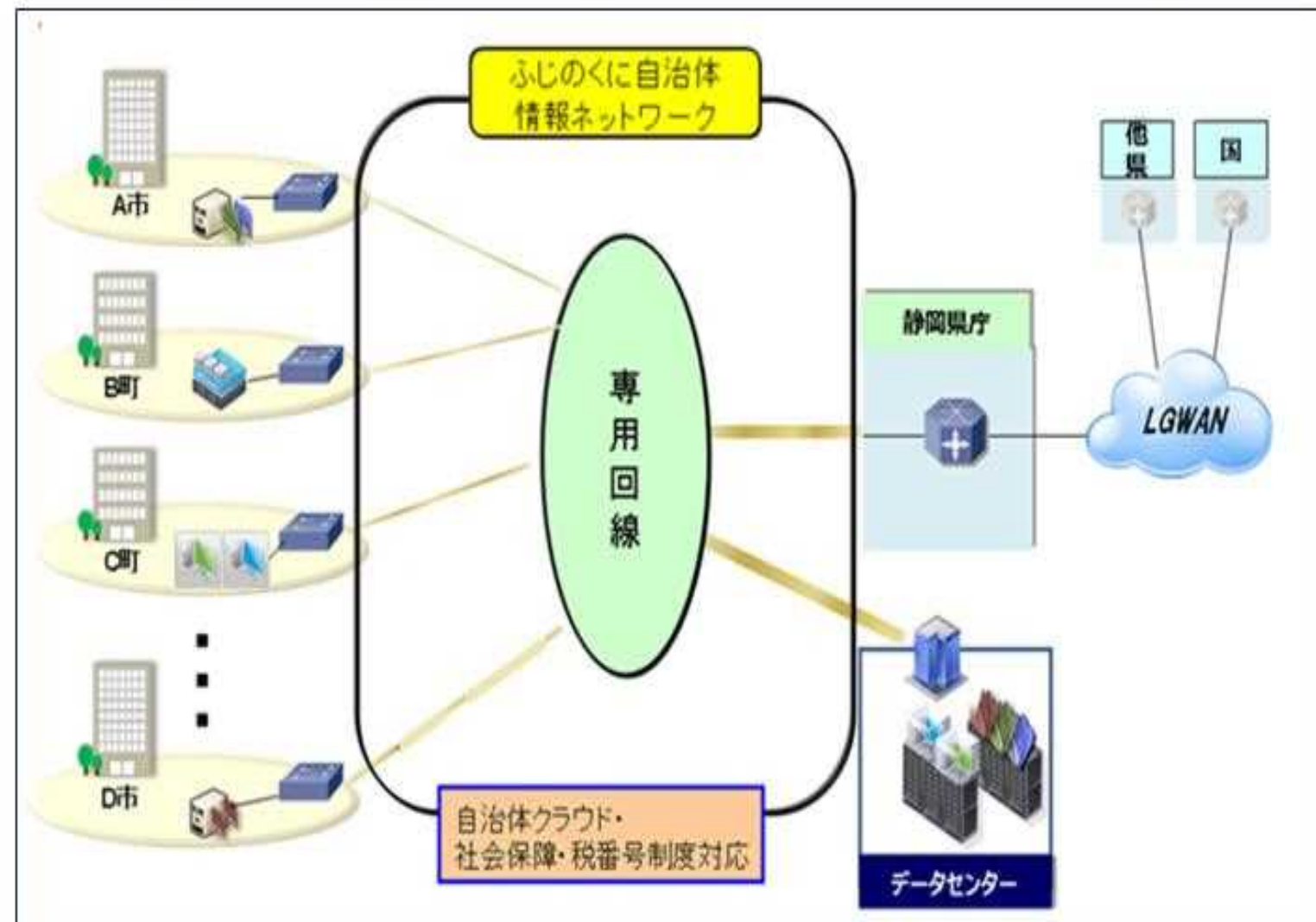
# 地域WANの運用と活用

＜知事直轄組織＞

## ふじのくに自治体情報ネットワーク構築

- L G W A N の回線容量不足解決のため、県と県内市町を結ぶ地域WANとなる「ふじのくに自治体情報ネットワーク」を構築
- 県市町が利用できる安全で安価な回線として有効活用
- 住民基本台帳ネットワークシステム等のネットワーク回線としての利用

【ふじのくに自治体情報ネットワークのイメージ図】



※地域WAN…県と県内市町のネットワークを結ぶ専用回線

# ICTエキスパートの派遣

<知事直轄組織>

## ICTの専門家による情報リテラシー向上

- 市町等が開催するICT利活用に係る検討会・講習会に対し、ICTの専門家であるICTエキスパートを派遣
- ICTの専門家による助言や支援によりリテラシーの向上やデジタルデバイス解消を図る。
- 令和2年度については市町等の申請を受け、43回の派遣を実施

### << 静岡県ICTエキスパート派遣事業 概要 >>

【ICTエキスパート派遣事業とは・・・?】  
市町、市町教育委員会、NPO法人等が行うICT等を利用する取組に対し、ICTに関する知識及び経験が豊富な人材を「ICTエキスパート」として派遣し、専門的なコーディネート及びアドバイスをいたします。

【エキスパートの活用事例】

- オンライン研修会の運用サポート
- SNSを利用した広報研修会
- 中学生とその保護者を対象とした情報リテラシー講演会
- プログラミング勉強会



### << 静岡県ICTエキスパート派遣事業 申請手続 >>

●手続概要フロー

ICTエキスパート派遣事業にかかる手続の流れ

- ① 事前調整 ★
- ② 実施計画書の提出 ★
- ③ 派遣申請書の提出 ★
- ④ 派遣決定の通知
- ⑤ 取組の実施 ★
- ⑥ 実施報告書の提出 ★
- ⑦ 報酬・旅費の支払い

★:申請団体が実施

●手続詳細

- ①エキスパートと事前に取り組内容や日程を調整
- ②県へ実施計画書の提出
- ③県へ派遣申請書の提出(※1)
- ④県は派遣決定の通知
- ⑤取組の実施
- ⑥取組実施後、県へ報告書の提出(※2)
- ⑦エキスパートへ報酬・旅費の支払い

※1:派遣申請書は、実施日の14日前までに提出してください。  
※2:実施報告書は、取組実施後15日以内又は実施日の翌月5日のいずれか早い日までに提出してください。

# 情報セキュリティ対策の推進

<知事直轄組織>

## 庁内セキュリティ水準の向上

- セキュリティ対策のより一層の強化を図るため、庁内業務ネットワークをインターネットから分離
- 新任研修や全職員を対象とした研修を実施することでセキュリティ意識啓発
- 進化する攻撃手法に対して常に動向を注視し、対策を実施



### 2 ルールと対策の紹介

～情報セキュリティのルール～

情報セキュリティのルールは、

『静岡県情報セキュリティポリシー』

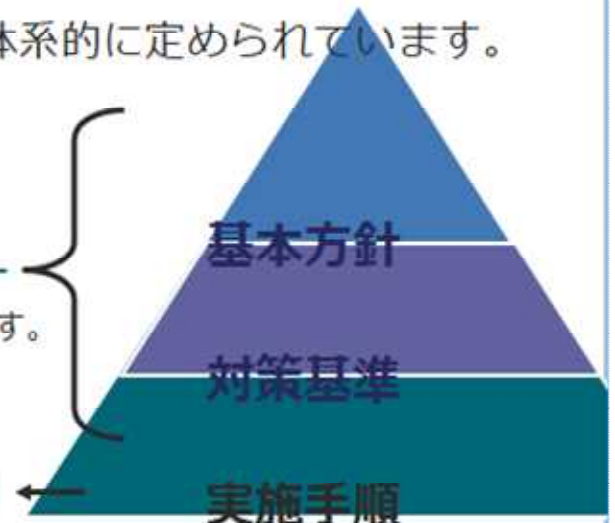
に体系的に定められています。

情報セキュリティポリシー

※「SDOの手引」に掲載しています。

情報セキュリティ実施手順

具体的な対策を記述したもの  
※各システム管理者が定めます。

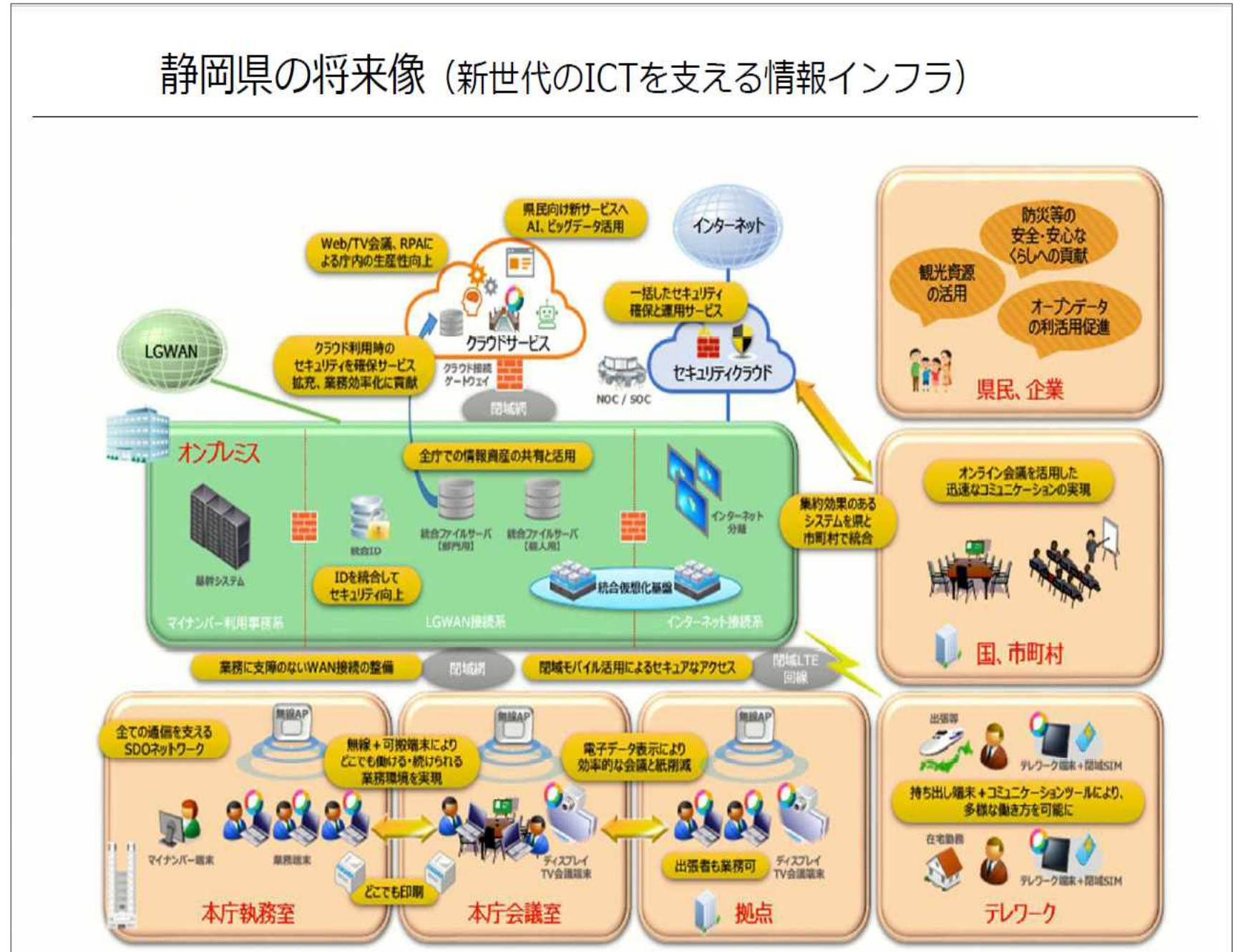


# 県庁情報システム最適化の推進

<知事直轄組織>

## 複雑化した情報ネットワークやシステムの見直し

- 行政コストの削減や一層の行政運営の効率化を確保するため庁内の情報ネットワーク及びシステムの見直しを実施
- システムの見直しにおける予算要求や開発時に支援を実施
- 働き方改革の実現に向け、ICT中長期基本構想を策定



# 申請・届出等手続のオンライン化の推進

＜知事直轄組織＞

## 行政手続のオンライン化による事務の効率化

- 行政手続のオンライン化を推進し事務を簡素化・効率化
- 高度情報化推進本部を通じて、電子申請の紹介や電子申請システムの操作研修会を開催する等、庁内利用の増加に向けた取組を実施
- 令和2年度は982件の手続をオンライン化

静岡県 静岡市 富士のくに 電子申請サービス

手続き申込 | 申込内容照会 | 利用者登録 | ログイン | ヘルプ

### 手続き申込

手続き検索 STEP 1 > 手続き一覧 STEP 2 > 手続き内容 STEP 3 > メールアドレス入力 STEP 4 > 確認メール送信完了 STEP 5 > 申込 STEP 6 > **申込確認 STEP 7** > 申込完了 STEP 8

#### 申込確認

自動車税納税通知書の送付先住所等変更届

■ お問い合わせ

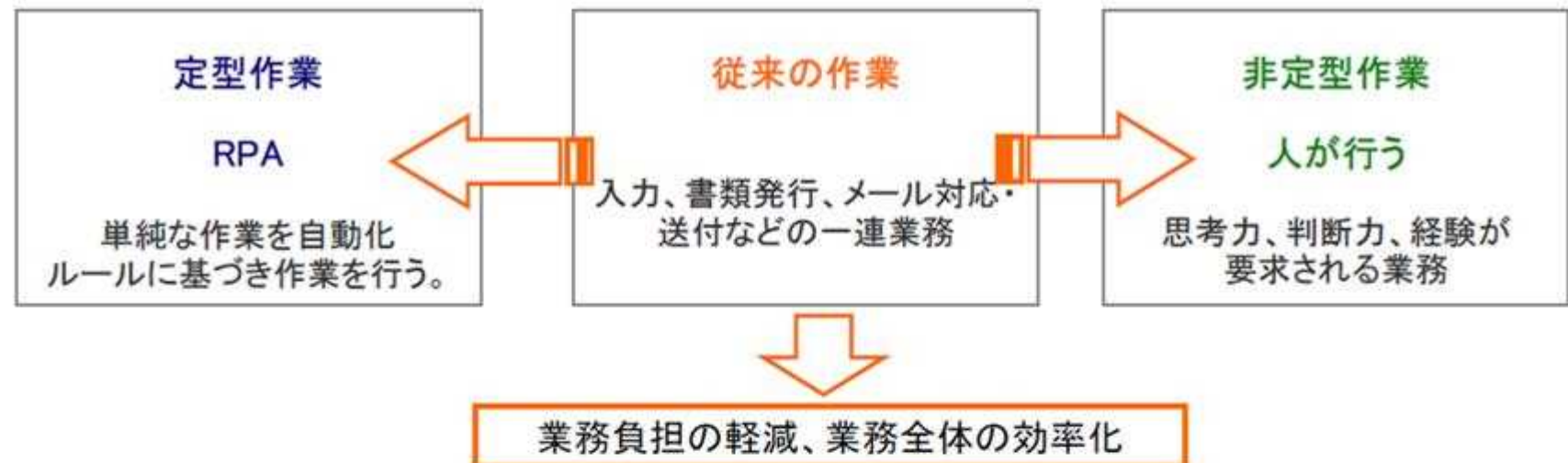
申請日	平成30年2月15日
お名前	静岡 太郎
お名前 (フリガナ)	シズオカ タロウ
提出先	静岡財務事務所
旧姓等	
旧姓等フリガナ	
■ 車両情報	
登録番号の地区	静岡

# 県行政の効率化・高価値化の推進①

<知事直轄組織>

## RPA (Robotic Process Automation) の導入

- 人間が行っている定型的なパソコン操作をソフトウェアにより自動化



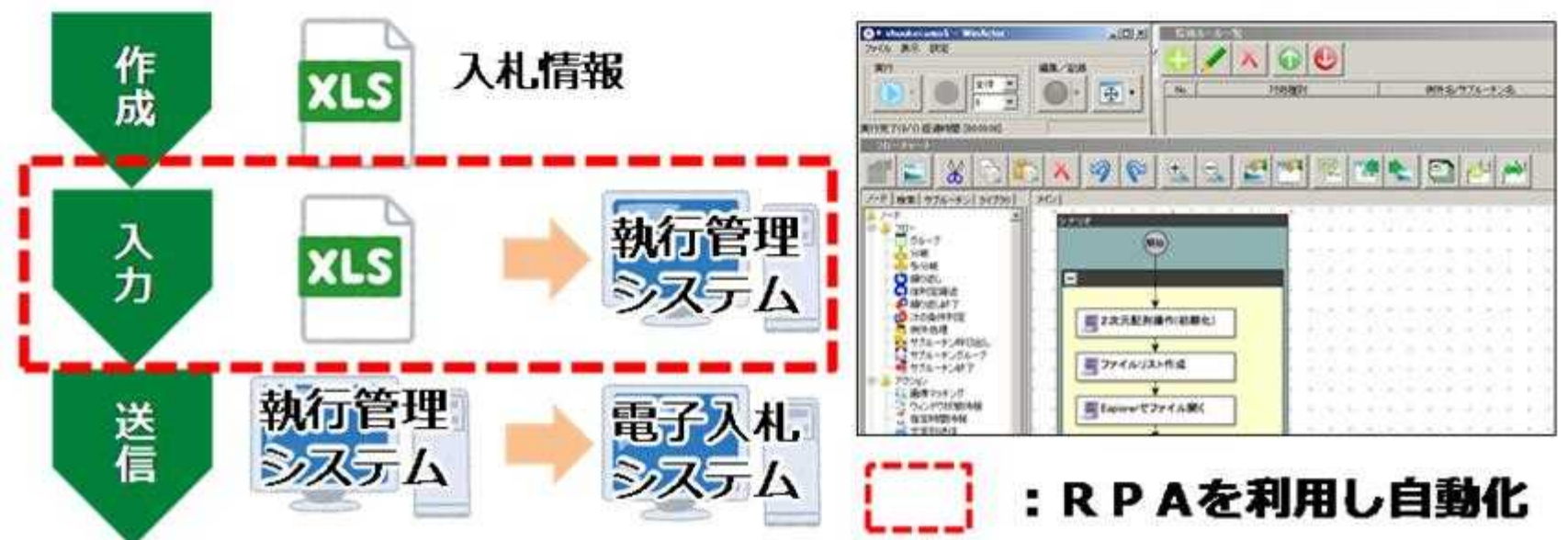
### 【対象業務】

- ① データ入力・転記
- ② 他のファイルからのデータの取得・出力
- ③ データのチェック・照合・加工等の定型業務

RPAの導入に適した業務
・ 処理ルールが明確であり、人の判断が不要なもの
・ 電子データを利用しているもの（紙媒体で無いもの）
・ 処理量が多く、実行頻度が多いもの（ルーチン業務）
・ 様式の変更等が無く、シナリオの修正頻度が低いもの 等

- 業務の効率化や職員負担の軽減、ミスの防止に寄与

### 【事例】 執行管理システムに、入札情報(エクセルファイル)を入力



# 県行政の効率化・高価値化の推進②

＜知事直轄組織＞

## 音声認識技術を活用した議事録等の自動作成

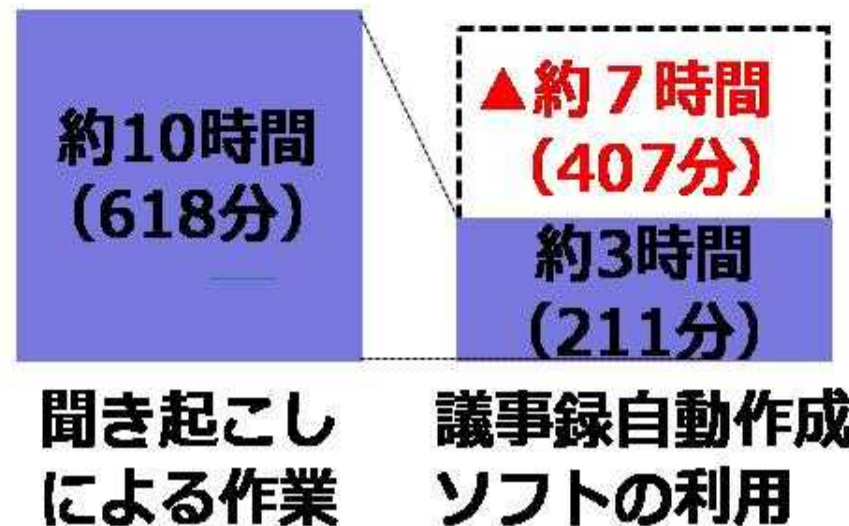
- 音声認識技術とは、人間の声をコンピュータが認識し、文字列に変換する技術
- 議事録等の作成に関わる職員の負担を軽減
- 音声を聞きながら認識結果を修正することができる専用ソフトを利用することで、更なる業務の効率化が可能



### 【事例】知事広聴「平太さんと語ろう」

会議時間：2時間

録音方法：話者ごとマイクを利用し、ICレコーダを音響機器に接続



**削減率：66%**

⇒作業削減率については、音声データの品質により変動



# モバイルパソコンの導入

＜知事直轄組織＞

## 多様な働き方に対応したテレワークを推進

- モバイルパソコンの導入やテレワークシステムの構築により、職員がテレワーク可能な体制を整備
- 端末の持ち運びが可能になったため、移動時間等のすきま時間を有効に活用
- 令和3年5月～令和4年1月に全庁へモバイルパソコンの導入を実施



# 県ホームページの改善

＜知事直轄組織＞

## ウェブアクセシビリティの向上

- デザインや機能に統一性を持たせるとともに、音声読み上げソフトに対応。高齢者や障害者の方にも利用しやすく、アクセシビリティに配慮したサイトを構築
- 例年、ホームページ担当者にウェブアクセシビリティに関する研修を実施し、周知・啓発を徹底するとともに、ウェブアクセシビリティに関するJIS規格に基づく試験を実施
- 利用者が見やすく、分かりやすいホームページを運営するため、適宜、修正や改善を実施



# 統計データのオープンデータ化の推進

<知事直轄組織>

## 県統計情報サイト「統計センターしずおか」の運用

- 県統計情報サイト「統計センターしずおか」に、各種統計データを公開
- 様々な分野の統計データを長期時系列で整備し、利活用しやすいデータの充実を推進
- 調査担当課に対しては、研修会等によりオープンデータとして提供することを依頼

ふじのくに 静岡県公式ホームページ

ホーム | 暮らし・環境 | 健康・福祉 | 教育・文化 | 産業・雇用 | 交流・まちづくり | 県政情報

音声読み上げ | 文字サイズ・色合いの変更 | サイトマップ

静岡県公式ホームページ

ふじのくに

検索

詳細検索

静岡県の統計

統計センターしずおか

分野一覧で探す

調査名・資料名で探す

データ形式で探す

クラブ選手のどうがい工場

よく使われる統計 アクセスランキング

- 1 静岡県人口推計
- 2 静岡県年齢別人口推計
- 3 静岡県人口動態統計

Open Data Catalog Shizuoka

## 自治体職員向けEBPM研修の実施

- 昨今、証拠に基づいた政策立案能力が求められ、職員のデータ分析や活用能力の向上が必要
- データ活用推進課と人事課が個別に行っていた研修を「EBPM実践講座」として再編し、選択必修科目として位置付け
- 県及び市町職員を対象に、年13回の講座を開催  
(令和2年度は延べ325人受講)

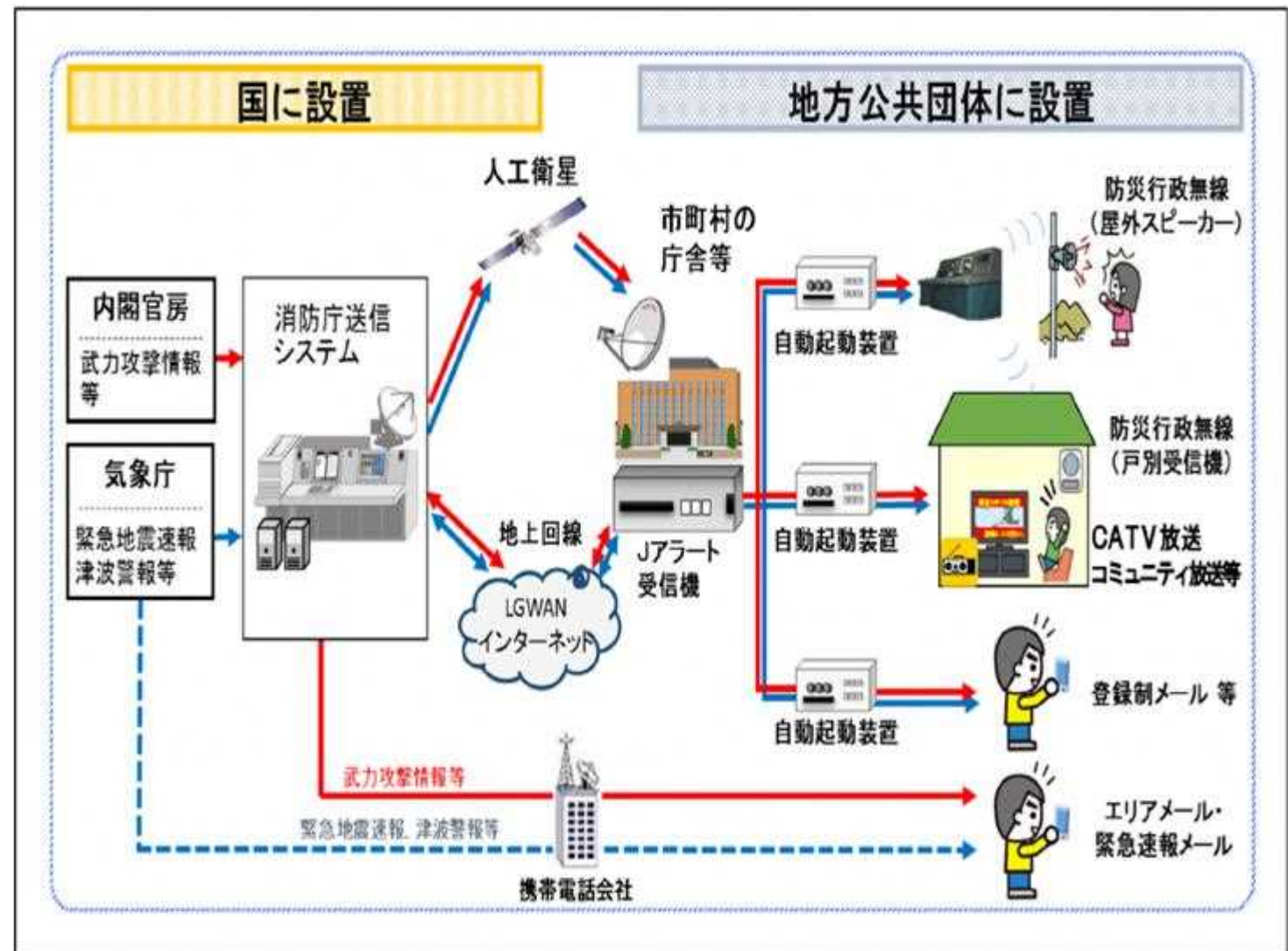


# 全国瞬時警報システムの更新

＜危機管理部＞

## 全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機への更新

- 住民への確実な伝達を行うため、Jアラート受信機と連携する情報伝達手段の多重化を図ることが目的
- 県及び県内市町は、Jアラートを更新し、新型受信機を用いて、緊急地震速報、津波警報、弾道ミサイル情報等の緊急情報を住民に対して伝達
- 新型受信機によって、確実かつ迅速に、より詳細な情報伝達を実施するとともに、住民への情報伝達手段の多重化を市町へ働きかける。



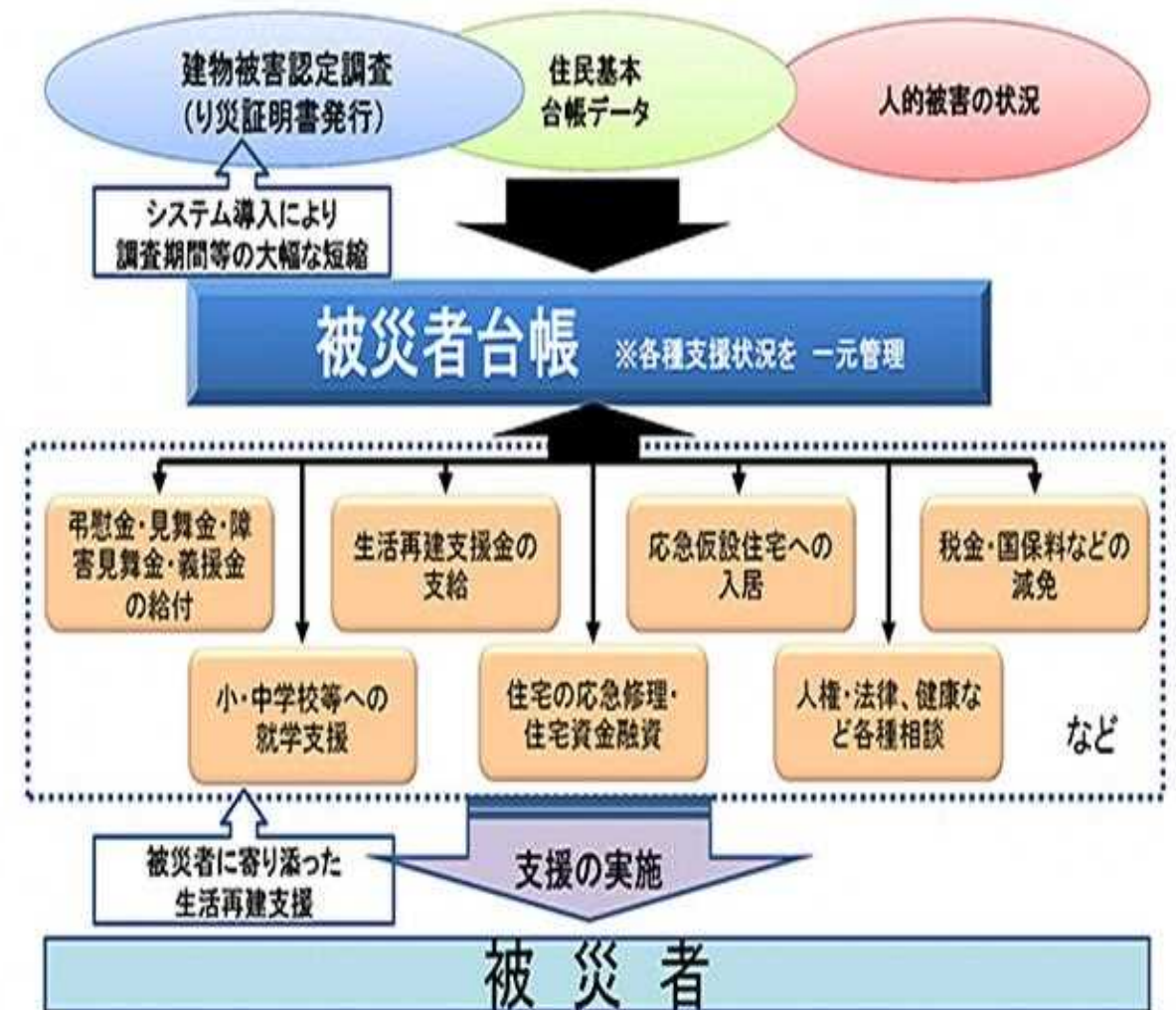
出典：総務省消防庁平成29年度版消防白書  
(<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/h29/topics10/46067.html>)

# 被災者生活の早急な再建に向けた取組

＜危機管理部＞

## 被災者生活再建支援業務へのシステム導入

被災者生活再建支援業務のフロー図



出典：浜松市被災者生活再建支援システム整備事業  
([https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/zaisek/budget/budget02/detail/d\\_148.html](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/zaisek/budget/budget02/detail/d_148.html))

- 被災者生活再建支援業務とは、災害発生から復旧・復興までの長期間にわたり、家屋被害調査、罹災証明書発行、各種被災者生活再建支援事業等を行うものである。
- 膨大な作業量であるが、被災者の生活再建のためには、迅速性・適格性・公平性が求められる。そのため、システムを導入して対応
- 市町の業務であること、市町が所有している住民台帳システム等との連携が求められていることを踏まえて、県が市町のシステム導入に対して、財政支援を実施

# スマートフォンのアプリを活用した防災情報の発信

＜危機管理部＞

## 静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」の普及

- 気象警報や避難情報など緊急防災情報を即時に受信
- 災害時に適切な行動を取れるよう、平時から地域の災害リスクや避難場所、避難ルートなどを地図上で確認
- いつでも手軽に、防災に関する基礎学習をすることが可能

**プッシュ通知で防災情報が届く!**  
現在地に加えて通勤先など気になる地域の情報を!

**気象・避難・災害緊急防災情報**

**災害対策本部並み情報収集能力**  
河川のライブ映像  
高解像度降水ナウキャスト  
ライフライン等関係機関40組織以上の情報を集約

**適切な行動を執るため情報収集と行動**

**各種ハザードマップ一元的に確認可能**  
土砂災害 津波 洪水  
その他:地震・火山・液状化も搭載

**避難場所・避難所も手軽に簡単検索**  
全国の避難所・避難場所を地図+一覧リスト化

**学習コンテンツAR危険度体験 &**

**避難トレーニング機能搭載**  
確認テスト機能あり  
浸水の様子を拡張現実で体験  
避難先をセットして経路を検索避難に掛かった時間を計測

お役立ち機能が盛り沢山!  
令和2年4月からは11カ国語対応開始

令和2年度は、  
・現場災害情報の集約機能  
・避難所運営の支援機能  
・自主防災活動の支援機能などを搭載

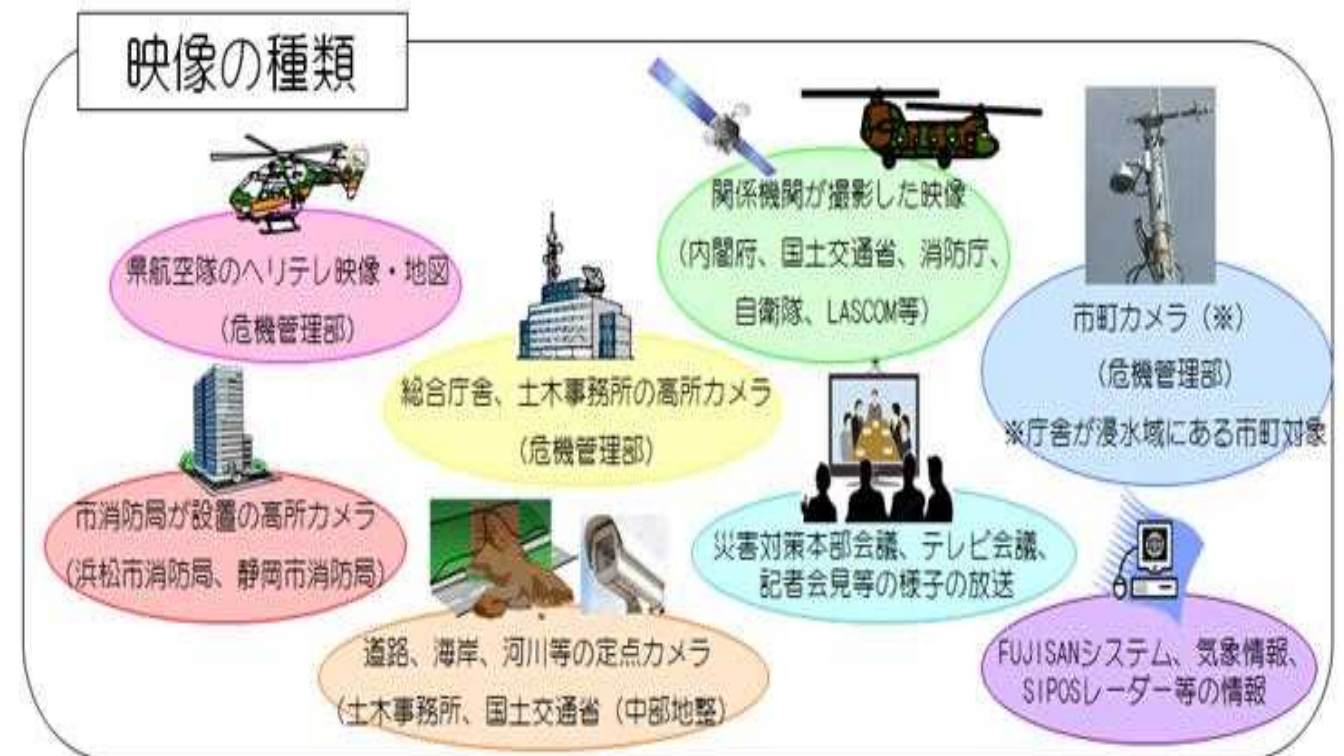
# 静岡県防災情報システムの整備

＜危機管理部＞

## 防災情報の共有機能の強化

- 大規模災害時には、高所カメラや監視カメラ、ヘリテレなど人手を介さない映像情報を市町や国と情報共有するためのシステム整備が必要
- 防災映像情報システム整備、ヘリテレ映像の機能強化を行うヘリテレシステム機能追加、高所カメラ整備等が完了
- 市町との映像情報の共有やテレビ会議システムの運用を目指し、意思統一機能の強化を図る。

### 防災映像情報システム（映像の種類と利用箇所）



### 映像の利用箇所

※ 赤字は新規利用箇所

県庁

- ・危機管理センター (東・西)
- ・本部員会議室 (特別会議室)
- ・SIPOS室
- ・県警災害警備本部室
- ・通信統制室

各総合庁舎

- ・下田総合庁舎 (下田方面本部室)
- ・賀茂危機管理庁舎 (賀茂方面本部室)
- ・東部総合庁舎 (東部方面本部室)
- ・藤枝総合庁舎 (中部方面本部室)
- ・中遠総合庁舎 (西部方面本部室)

各土木事務所 (水防室)

- ・下田総合庁舎 (下田土木事務所)
- ・熱海総合庁舎 (熱海土木事務所)
- ・東部総合庁舎 (沼津土木事務所)
- ・富士総合庁舎 (富士土木事務所)
- ・静岡総合庁舎 (静岡土木事務所)
- ・島田土木事務所
- ・袋井土木事務所
- ・浜松総合庁舎 (浜松土木事務所)



# 災害情報見える化システムの構築

＜危機管理部＞

## ふじのくに防災情報共有システムの改修

- 災害時に迅速・的確な対応を立案・実施するには、各種情報を集約し地図上に表示し、「見える化」することが重要
- ISUTと連携し、複数の災害情報を組み合わせた地図化等を可能とするため、ふじのくに防災情報共有システム（FUJISAN）を改修
- 引き続き国と協力して、取り扱う情報の整理や追加、操作の円滑化など、機能の向上に取り組むとともに、操作演習など市町への運用拡大を図る。

FUJISAN連携後のISUTサイト例



※ISUT…災害現場で官民からの様々な情報の収集・整理を行う内閣府の災害時情報集約支援チーム

# 原子力防災の実効性向上の取組

＜危機管理部＞

## 避難車両検査自動化システムの開発

- 従来、手作業で行っていた避難退域時検査の「証明書発行業務」を自動化するシステムを県が考案・開発
- 原子力災害発生時に放射性物質による汚染の検査を行う「避難退域時検査場所」において利用
- 検査の際の手作業は、乗車人数の入力のみ
- 車両検査の大幅な省力化・迅速化が実現



車両検査自動化システムは、①避難車両の放射線量を測定する車両用ゲート型モニタ、②車両番号を画像認識し、車両番号を抽出する画像認識装置、③両者のデータを統合し、検査済証を発行する処理装置で構成しています。

①車両用ゲート型モニタ	③処理装置	②画像認識処理装置
通過する車両の放射線量を検知し、放射線量を測定する。	①、②のデータを統合し、規定値以下の場合、自動的に「検査済証」を印字・発行する。また、処理データは全て端末内に記録。	ゲート型モニタを通過する車両の車両番号（ナンバープレート）を認識し、テキストデータを抽出
検査日時 検査結果数値	「乗車人数」の入力 統合処理 「検査済証」の印字	車両ナンバー 車両ナンバー画像

# コンビニ交付サービスの導入支援

＜経営管理部＞

## マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスの導入支援

- マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等をコンビニエンスストアで取得できる「コンビニ交付サービス」の導入を推進
- 県内市町におけるコンビニ交付サービスの導入促進のため市町に対する各種支援（説明会開催等）を実施

（令和3年3月末現在、県内30団体が導入）



# マイナンバーカード交付率向上に向けた取組

＜経営管理部＞

## 県内市町における出張申請受付方式の導入支援

- マイナンバーカードの交付率向上のため、企業等に出向きカードの申請を受け付ける「出張申請受付方式」の導入を推進
- 市町間連携による出張申請受付方式の試行実施、導入効果の共有等により、県内市町における導入を支援

方式	交付時来庁方式 (通常の交付方式)	申請サポート方式	申請時来庁方式	出張申請受付方式
申請方法	郵送・スマホ・パソコン・証明用写真機などで申請	顔写真撮影やオンライン申請支援など申請サポート	行政手続などでの来庁時に申請を受付	企業や商業施設等に市区町村職員が出向き申請を受付
受取方法	市区町村窓口で受取り		本人限定郵便により自宅で受取り ※再度出向いての交付も可能	
イメージ	<p>郵送又はオンライン申請 → 申請書 → 発行事業者 → 市区町村 → 申請者 (交付)</p> <p>申請サポート</p> <p>交付時に本人確認</p>		<p>申請書 → 市区町村 → 発行事業者 → 市区町村 → 申請者 (本人限定受取郵便)</p> <p>申請時に本人確認</p>	

# 情報基盤を活用した市町の取組への支援

＜知事直轄組織・経営管理部＞

## マイキープラットフォームの利活用に向けた取組

- マイキープラットフォームの活用に向け、行政経営研究会「マイナンバーカードの利活用等」課題検討会等において、最新情報を提供
- 自治体マイナポイントのモデル事業に関する情報を収集し、県内市町への情報提供や助言を実施。市町間における情報共有を図り、各市町の取組を支援



# 移住・定住の促進に係る情報発信

<くらし・環境部>

## オンライン移住相談センターを開設

- 移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」内に、県や市町のオンライン移住相談の受付リンクやオンラインイベント情報を掲載する特設ページを設置し、移住検討者の利便性を向上
- 全県規模の移住相談会について、コロナ禍で対面式で開催することが困難であったため、特設サイトを開設し、オンライン方式で実施



【移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」】



全県規模のオンライン移住相談会【静岡まるごと移住フェア】特設サイト

# 一層の多文化共生に向けた相談窓口の強化

<くらし・環境部>

## 多言語に対応したタブレットの配備

- 外国人に対応するための窓口「かめりあ」を設置
- 健康福祉センターや県民生活センターにタブレットを配備し、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語、中国語、スペイン語等に対応したテレビ電話通訳機能や自動翻訳アプリを導入
- テレビ電話機能を利用することで利用者(外国人)と相談員の顔が見える形での相談体制を整備



# スマホアプリを活用した地球温暖化防止の取組

<くらし・環境部>

## 温暖化防止アプリ「クルポ」の運営

- 県民の自主的・継続的な地球温暖化防止の行動を促進するためアプリ「クルポ」を運営
- 温暖化防止に係る行動（クールアクション）を行った県民に対しポイントを付与し、抽選で景品が当たる仕組み
- 家庭部門について、県民の直接的な行動を促進することにより、効果的に温室効果ガスの削減を図る。

スマホのアプリでSTOP温暖化!  
行動すれば未来は変わる! クルポを使えば未来は変わる!

ダウンロードはこちらから

身近なエコアクションから  
ポイントゲット!  
抽選でステキな景品が当たる!

おかげさまで3周年! ポイントスポット拡大中!!

COOL CHOICE

温暖化防止のための県民運動  
ふじくにCOOLチャレンジ

クルポ

（株）富士通環境ソリューションズ 〒420-8951 静岡県浜松市東区 1-4-1  
TEL 054-271-1909 FAX 054-254-7852 E-mail cool@05fcci.com http://f-cc.net

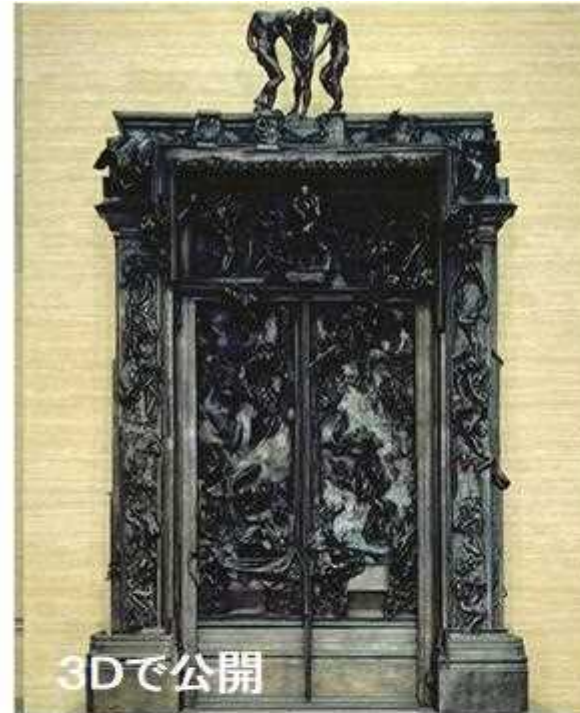


# 文化施設等のデジタル化・安全安心対策

＜スポーツ・文化観光部＞

## 新たな生活様式に対応した文化施設等の取組

- コロナ禍において、県の文化施設は、赤外線カメラによる体温確認や手指消毒、入場制限など対策を実施した上で開館
- Webで文化資源に触れられるデジタルコンテンツを充実させ、文化芸術に触れる機会の回復と来館促進
- 来館者の利便性向上や感染症対策としての現金手渡し機会減少のため、現金管理の簡素化を図るキャッシュレス決済を順次導入



音声ガイドの導入

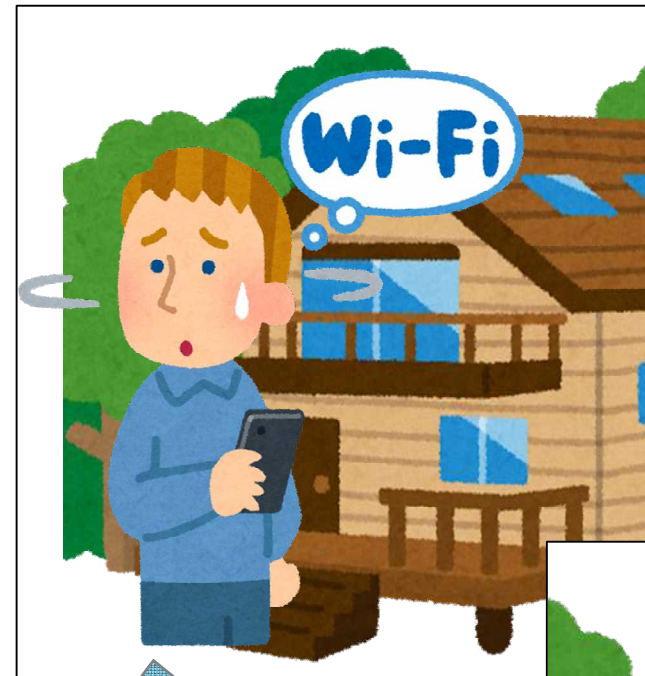


# 外国人が無料で利用できるWi-Fi整備の促進

＜スポーツ・文化観光部＞

## 「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」の取組の充実

- 山梨県及び神奈川県との連携による産官民協働の推進体制となる「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」を2013年に立ち上げ、通信事業者と連携し、無料Wi-Fi環境の整備を推進
- 通信事業者と連携し、富士山の開山期間に五合目や山頂、全山小屋において無料でWi-Fiを利用できる環境を整備
- 観光地域づくり整備事業の活用等により、Wi-Fi環境の面的整備を推進



# 観光デジタル情報プラットフォームの構築・運用

＜スポーツ・文化観光部＞

## 旅行者等のデータ収集・分析による地域全体の魅力向上

- 旅行者の嗜好に合わせた情報発信には、地域の強みの整理やマーケティングに基づいたデータの分析・活用が必要
- 観光施設や旅行者の年齢・性別等の属性、位置情報等のデータを収集し、分析する観光デジタル情報プラットフォームを構築することでデータ提供・有効活用を促進
- 県有施設等とのデータ連携や観光情報アプリの利用を促進し、プラットフォームに蓄積する旅行者データ等を充実



＜観光デジタル情報プラットフォームのイメージ＞

# 科学的知見に基づく健康施策の推進

＜健康福祉部＞

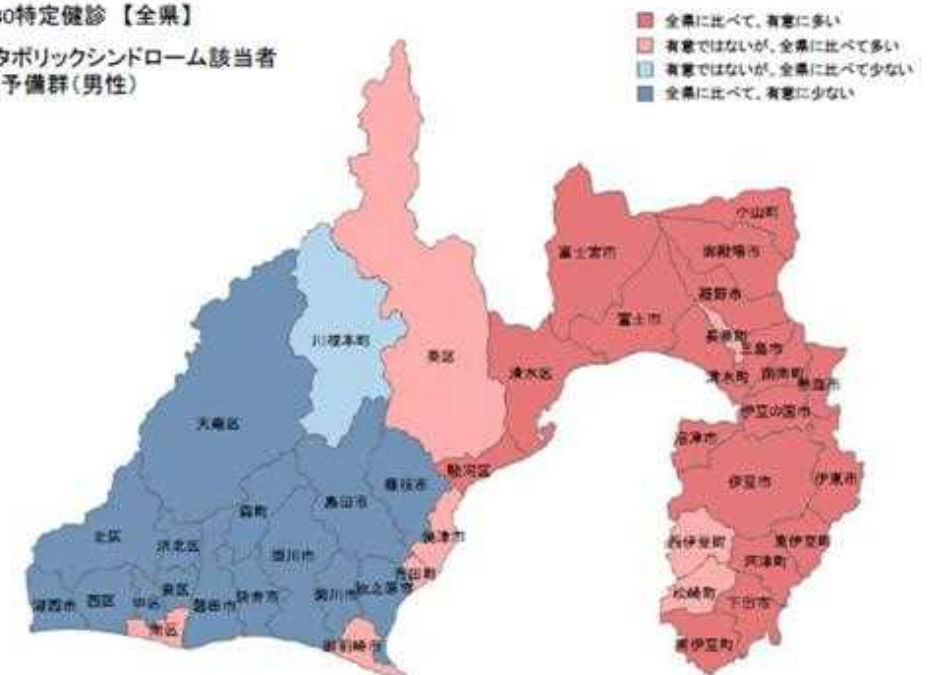
## 医療ビッグデータの分析・活用

- 県民の健康づくりや生活習慣病予防対策の効果的な取組を推進するため、平成21年度から、県内の市町国保・国保組合の協力を得て、約20万人分の特定健診データ(平成20年度分)の分析を開始
- 令和2年度は、約71万人分(平成30年度分)のデータを分析し、市町の地区別分析支援や保険者(企業等)へのフィードバックを実施
- 市町における地区別状況の見える化に対する支援を行い、市町の健康増進施策の推進に寄与

(市町別の状態を見える化)

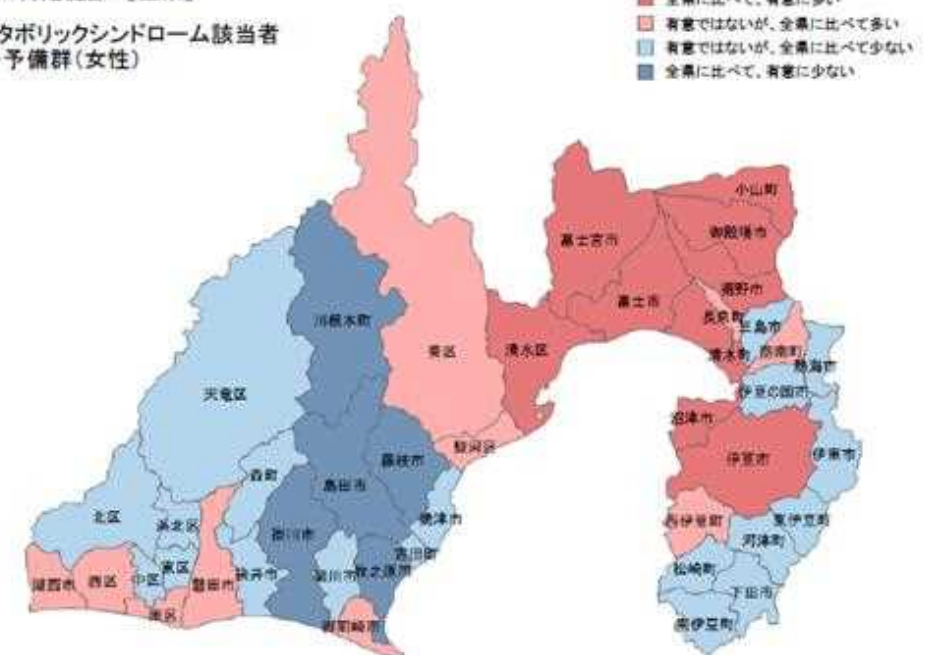
H30特定健診【全県】

メタボリックシンドローム該当者  
十予備群(男性)



H30特定健診【全県】

メタボリックシンドローム該当者  
十予備群(女性)

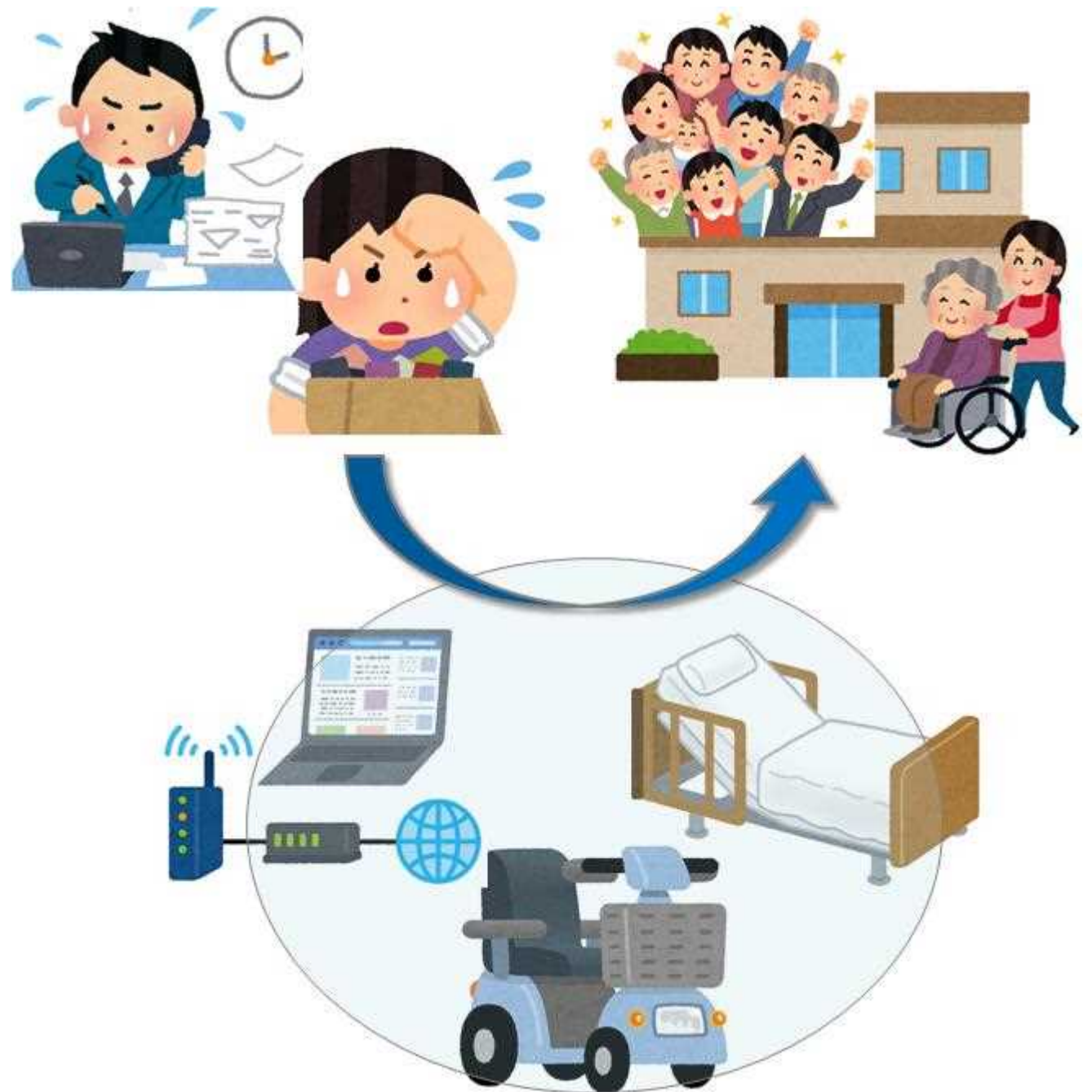


# 介護分野のICT化の促進

＜健康福祉部＞

## ICTを活用した介護業務の効率化・省力化

- 高齢化の進行により、介護職員の不足が深刻化する中、ICT機器を活用した介護業務の効率化・省力化が必要
- 介護記録機器や見守りの機器、介護業務改善システム、オンライン面会の通信環境整備、移乗介助・入浴支援機器の導入に助成し、ICT化を促進
- 介護支援専門員の業務に対するAI活用を推進するとともに、移動支援、排泄支援などの機器導入にも助成を拡大



# コロナ禍における児童の安全確保

＜健康福祉部＞

## 児童の安全確認や保護者との面談等にICTを活用

- コロナ禍でも、児童の安全確保のため、感染防止に努めながら、家庭訪問や調査の実施が必要
- 令和2年10月から児童相談所職員の家庭訪問調査にタブレット端末を導入。県の5カ所の児童相談所に2台ずつ端末を配備
- ICTを活用し、テレビ通話等で児童の安全確認や調査、面会等を実施



# 若年層に重点を置いた自殺対策の推進

＜健康福祉部＞

## インターネットやSNSを活用した自殺対策

- 自殺者数が減少する中、39歳以下の若年層の自殺者数がほぼ横ばいで推移しているため、若年層に重点を置いた対策が必要
- 「若者こころの悩み相談窓口」による24時間、365日対応可能な窓口を設置。LINEなど、インターネットやSNSを活用して若者が気軽に悩みを相談できる体制を整備
- インターネットで自殺願望に関連するキーワード検索をした方へ、相談窓口の広告を自動表示

若者こころの悩み相談窓口 24時間いつでもダイヤル LINE相談

親にも友だちにも言えないこと。

打ち明けられる場所、あります。

静岡県

うちあけダイヤル

自分の気持ち、話せるよ。

# ICT技術を活用した広域医療連携体制の構築

＜健康福祉部＞

## ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル「ふじのくにねっと」の整備支援

- 県内各医療施設間で患者・診療情報を共有するためのネットワーク基盤（ふじのくにねっと）の整備を支援（関係団体と利用する病院等で構成される協議会（事務局：県立総合病院）にて運営）
- ネットワーク上で他施設の診療情報の参照が可能となり、病院同士や病院と診療所等の情報共有の利便性の向上、効率化・迅速化の実現
- 診療情報の共有により転院時のスムーズな受診や重複検査の防止等に寄与





# インターネットを活用した医療情報の提供と災害対応

＜健康福祉部＞

## 「医療ネットしずおか」の運用

- 県民に対しては、医療機関や当番医、休日夜間急患センター等の情報を、消防本部に対しては救急患者の搬送に必要な情報をインターネットで提供
- 全国レベルの広域災害・救急情報システム(EMIS)及びふじのくに防災情報共有システム(FUJISAN)と連携し、災害医療に関する情報を医療機関や消防機関等と共有
- 日本語のほか、9か国語(英語、中国語等)に対応



# 在宅医療・介護連携情報システムの活用

<健康福祉部>

## 「シズケア\*かけはし（静岡県地域包括ケア情報システム）」の活用

- 多数の医療機関や介護サービス事業所など、多職種間で患者情報・施設情報等を効率的に共有するシステム(県医師会が運営)
- このシステムを活用し、医療や介護情報の共有に取り組むモデル地域に対して支援を実施
- 在宅患者の医療情報や介護サービス・施設情報等の共有化を全県で推進



専門多職種をつなぐ 地域包括ケア「見える」システム

シズケア\*かけはし

静岡県在宅医療・介護連携情報システム シズケア\*かけはし

● 3つのポイント

- ① 知りたい情報がみえる... 患者様の状態・ニーズに合った施設・事業所の検索や、行政機関・関係団体等からの重要なお知らせの入手が可能となります。
- ② 伝えたい情報を発信する... 自施設のサービスのPRや空床状況のお知らせのほか、掲示板機能により、特定の地域や職種に向けて様々なメッセージを発信することができます。
- ③ 大切な情報を共有する... 患者様の病歴など秘匿性の高い情報については、利用権限の設定により安心して関係者間で共有することができます。

# オンラインによる高齢者等のつながり支援

＜健康福祉部＞

## 新たな生活様式に対応した健康づくりや社会参加を推進

- コロナ禍において、社会活動の自粛などにより、他者との交流の機会が減少。高齢者においては身体・認知機能の低下が懸念
- 高齢者等にタブレットを貸与し、Zoomの使い方などに対応するサポート体制を整備。運動指導や買物支援、認知症カフェなどを実施
- オンラインによるつながりでも健康づくりに有効  
今後、ICTを活用した新しいつながりを地域へ普及



# 技術情報Webサイトによる県内企業のマッチング・協業促進

＜経済産業部＞

## 県内ものづくり企業の技術データベース「テクノロジー静岡」をWebで公開

- 新たな製品や技術の開発に取り組む企業やサプライチェーンの多元化を目指す県内外の企業と、高い技術力を有する県内中小企業とのマッチングを支援
- 県の先端産業創出プロジェクトの強みを生かし、異なる分野との協業による新たな価値の創造を推進

静岡県内企業技術情報Webサイト  
URL : <https://technology-shizuoka.jp/>

# テクノロジー静岡

## Technology Shizuoka

探そう 静岡の技術を

【お問合せ先】 静岡県経済産業部産業政策課 電話 054-221-2578  
メール [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

### 静岡県内企業の“技術”が詰まったWebサイト！

新たな開発に取り組む企業  
サプライチェーンの多元化を  
検討している企業

技術力の高い  
静岡県内中小企業

先端産業プロジェクトと連携

- ・先端ものづくり、医療健康、スマート農業など県の先端産業創出プロジェクト関連企業を多数掲載。
- ・静岡県内113社、700件以上の固有技術を掲載。(2021年1月末日現在 随時追加)
- ・総勢40名の専業コーディネーターが問合せに対応し、サイト利用者のニーズから最適な企業とのマッチングを支援。

技術による検索が可能

- ・サイト利用者が実現したい機能(成形する、切る、削る等)による検索が可能。
- ・各企業が得意とする技術を画像付きで紹介。
- ・プロジェクト相互の連携により、複数の分野にまたがるマッチング支援も可能に。

絞込み検索が充実

- ・取扱可能な素材や取引先業界、国際規格等の認証規格等での絞り込み検索が可能。
- ・試作品の開発や量産対応の可否等、企業の受注スタンスも記載。
- ・技術の項目と掛け合わせて検索することで、サイト利用者のニーズに合う企業を探せる。

主な掲載内容

- 1 得意とする技術
- 2 主要設備
- 3 主要取引業界
- 4 認証規格
- 5 主な特許情報
- 6 最近5年間の開発テーマ

# IoT技術の導入支援で中小企業の生産性向上を促進

＜経済産業部＞

## 工業技術研究所に「IoT推進ラボ」を設置

- 民間企業（現在9社）の協力によりIoT関連機器をわかりやすく展示
- 機器類の操作を体験することで、IoT導入に対する疑問を解消
- 実習により現場実装までサポート



見学の様子(令和2年11月リニューアル)



大学連携講座(令和2年12月開催)

# 食の機能性に関する情報の集積・発信

＜経済産業部＞

## 農林水産物の機能性に関するデータベースの公開

- 県特産の農林水産物に関するデータベースで食品や素材の有する機能性を検索可能

（温室メロン、折戸ナス等  
104品目をデータベース化）

- 県特産の食品や素材の有する機能性、栄養成分、産地情報等を網羅

- 機能性を生かした新商品・加工品開発等に活用が可能



\* 各研究所の部局横断的な協力によりデータベースを構築

- ・ 工業技術研究所
- ・ 畜産技術研究所
- ・ 水産・海洋技術研究所
- ・ 環境衛生科学研究所
- ・ 茶業研究センター
- ・ 果樹研究センター
- ・ 伊豆農業研究センター
- ・ 農林技術研究所

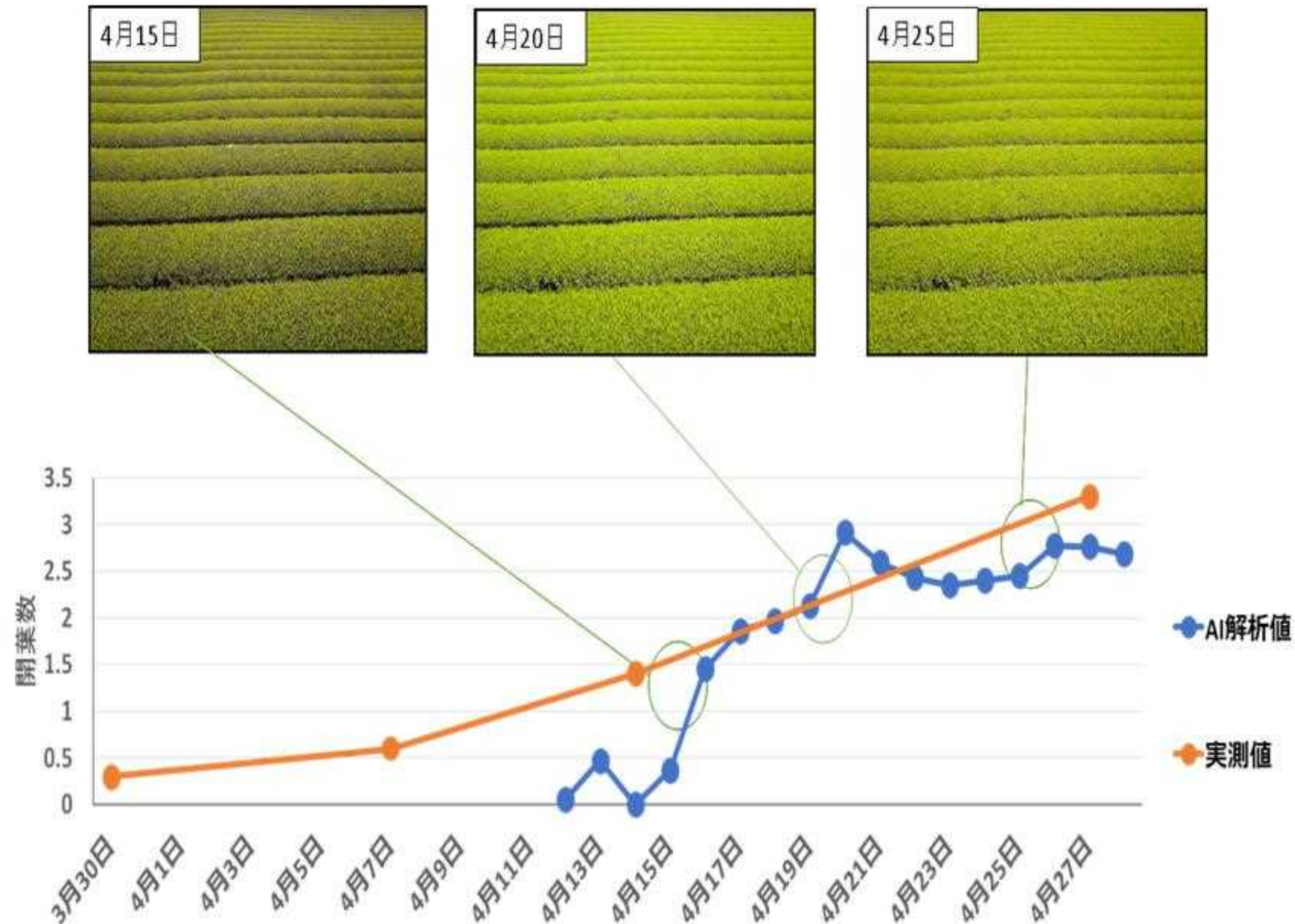
名称	品目名	温室マスクメロン	コード	VM001	
	英名	Greenhouse Musk melon	カテゴリ	野菜	
	科名	ウリ科	品目区分	主要品目	
概要	上品な外観、内容品質、栄養機能を兼ね備えた最高級果実			資料	—
産物の概要	<p>【上品な外観、内容品質、栄養成分を兼ね備えた最高級果実】 果物の王様といわれる温室マスクメロンは、明治33年(1900年)にイギリスから日本に伝来して新宿御苑で栽培されたのが最初とされ、大正5年(1916年)頃より気候が温暖で、風土がメロン栽培に適した県西部地域に産地が形成されました。100年以上の歴史の中、多くの先人たちの「おいしさを追求した品種改良」と「絶え間ない栽培技術の向上」への取組により、農産品の最たる品目として本県を代表する特産品になるとともに、世界に誇れる高級果実としての地位を築いています。なお、温室マスクメロンの「マスク」は、食べごろになると、ムスク (Musk、麝香・じゃこう) のような良い香りがすることから付けられたものです。</p>				
機関名	農林技術研究所				
URL	<a href="http://www.aqr.nrcf.shizuoka.jp/">http://www.aqr.nrcf.shizuoka.jp/</a>				
更新日	2018/09/21				

# AI解析技術等を用いた茶の品質管理

＜経済産業部＞

## 新芽の画像から茶の生育ステージを推定

- 茶の品質管理に資する新芽の生育ステージの客観的推定法を確立
- カメラやICT端末で新芽の画像を撮影
- 茶業研究センターのAI解析技術を用い、画像から開葉数を推定することで収穫適期や品質向上のための被覆開始適期を判断



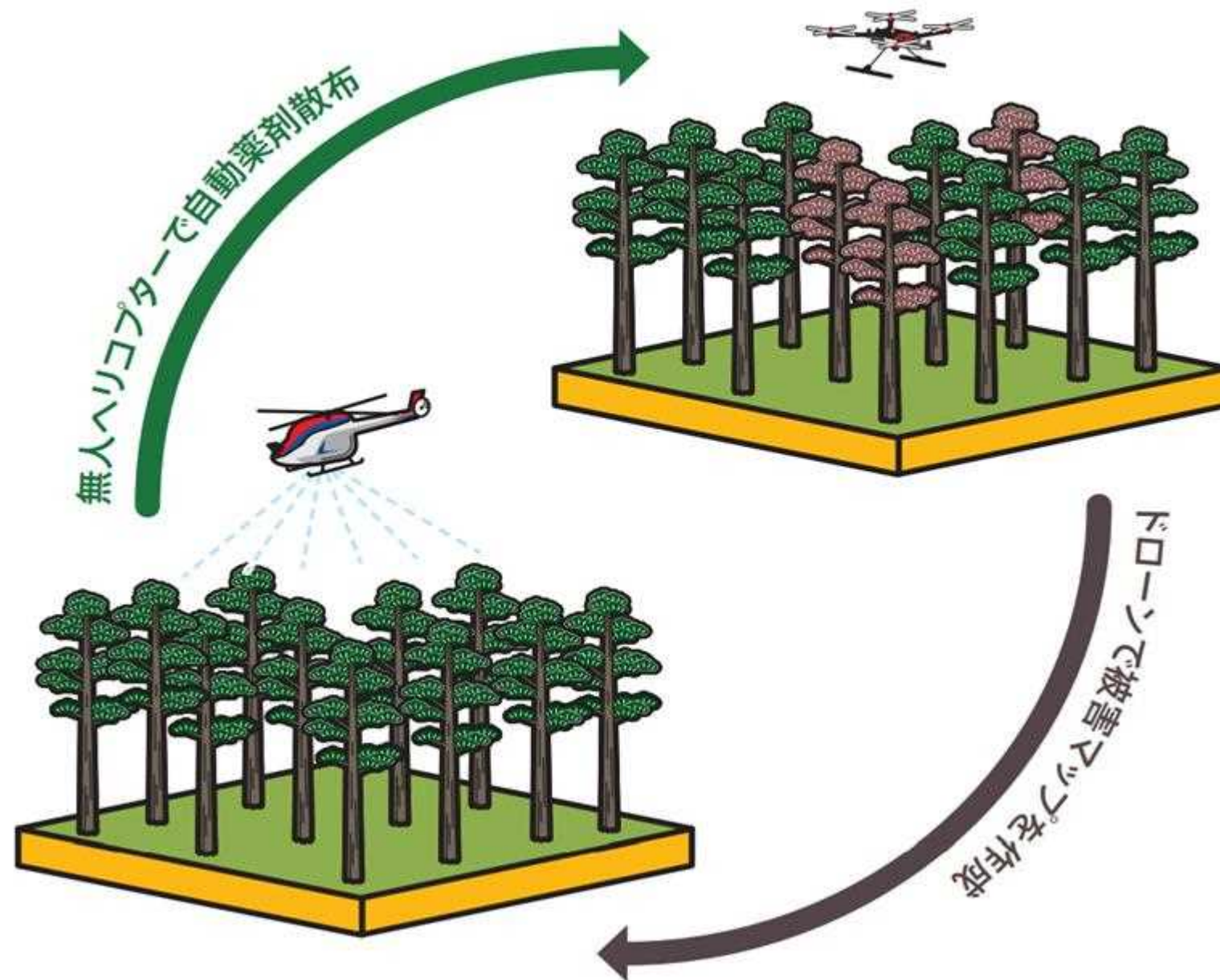
# IoT等の活用による調査の効率化

＜経済産業部＞

## ドローンを利用した松枯れ被害調査・ 無人ヘリコプターを活用した薬剤散布技術

ドローンで見つけた被害木を徹底駆除

- 海岸林を形成しているクロマツは、長年、マツ材線虫病の被害が発生
- 被害削減のために、感染源となる枯れたクロマツをドローンを使って効率的に調査
- 調査結果から作成した被害のマップに基づいて無人ヘリコプターを活用し、薬剤を自動散布



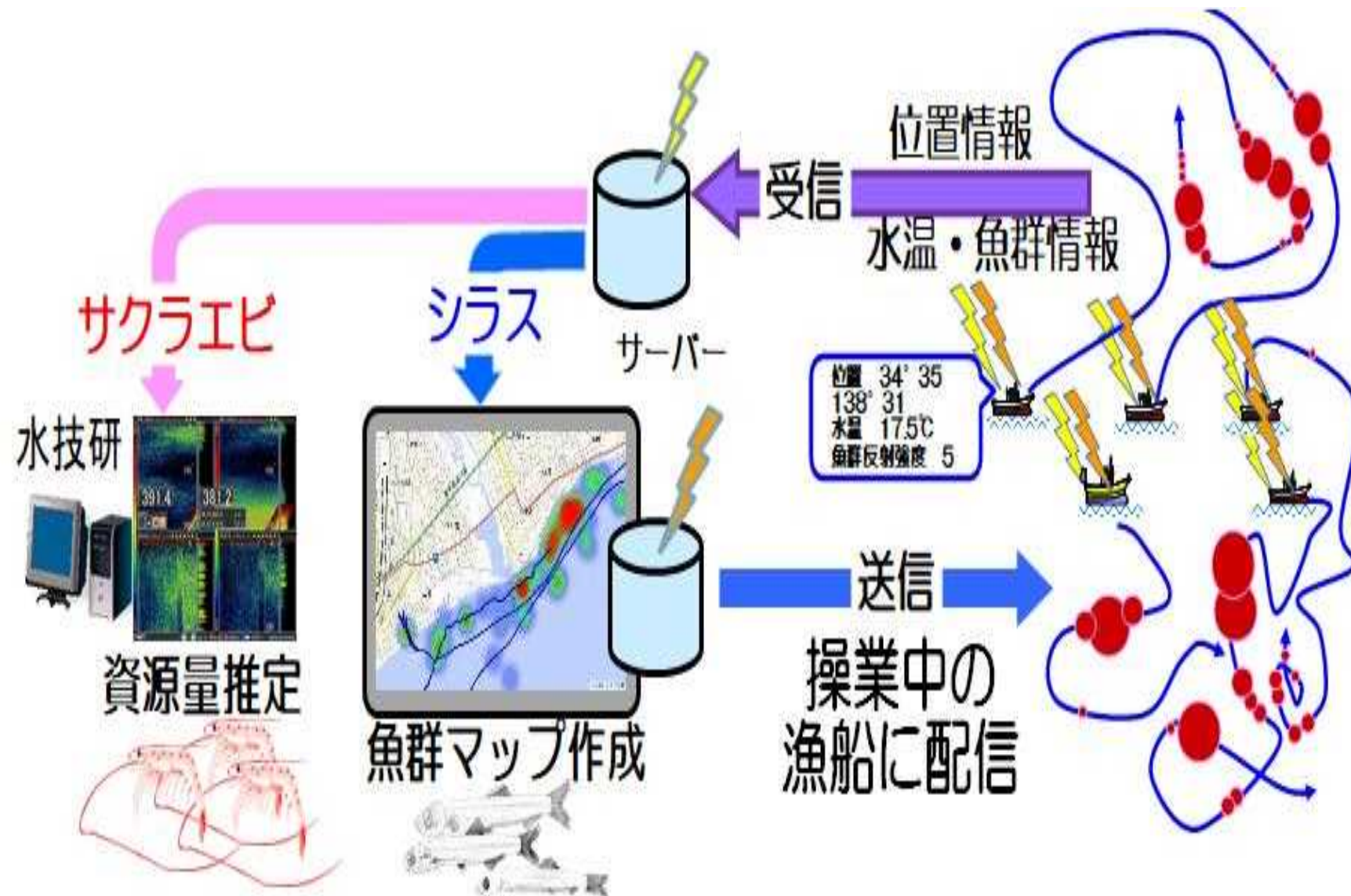


# ビッグデータを活用した操業の効率化

＜経済産業部＞

## 駿河湾漁海況情報ネットワークシステムの構築

- 漁業者の操業の効率化を支援するため、漁船に装備されている魚群探知機、GPS等から得られるビッグデータの共有によって魚群の位置を示す「魚群マップ」を提供
- シラス船曳網漁業では、データに基づく操業形態の選択が可能
- サクラエビ船曳網漁業では、資源量推定による資源増減の把握に寄与



# 成長産業の育成

＜経済産業部＞

## 成長分野における製品開発・事業化支援

- 成長分野において、中小企業の新規参入から製品開発・販路開拓までを一貫して支援
- 「データヘルス・リビングラボ」などのフィールドを活用した新たなヘルスケア製品・サービスの開発を促進
- CASEの進展、脱炭素社会の実現に向けたEV化の加速等に対応するため、「次世代自動車センター浜松」を中心として中小企業を支援
- しずおか自動運転ShowCASEプロジェクトによる実証フィールドを形成



開発例：株TRINC  
浮遊ウイルス高速・  
高効率回収装置

### 医療機器の開発支援

- ・医療機器のデジタル化や遠隔非接触技術等の開発・事業化支援



### ヘルスケア製品・サービスの開発支援

- ・プラットフォームの構築  
(データヘルス・リビングラボ)



### 次世代自動車センター浜松

- ・固有技術の探索、EV分解活動、  
試作品開発 等



### しずおか自動運転 ShowCASEプロジェクト

- ・5G等を活用した実証実験の実施  
(エコパ、沼津、下田、松崎)

# テレワークなど多様な働き方の導入支援

＜経済産業部＞

## 中小企業へのテレワーク導入支援

- 導入に必要な労務管理や関連機器、セキュリティ対策などを学ぶ企業向けセミナー、機器体験会、個別相談会を開催
- 企業がテレワークを導入する場合の留意点を示した厚生労働省「テレワークの導入・運用ガイドブック」の周知・活用促進
- 導入に課題を抱える企業が参画する研究会を開催し取組事例を収集

企業向けセミナー・体験会・相談会

01 機器体験会  
02 テレワーク導入セミナー  
03 相談会

導入・運用ガイドブック

導入の2つのステップ  
テレワークの運用

1	テレワークの導入の準備・機器体験	P.07
2	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.11
3	テレワークの導入の準備・労務管理	P.19
4	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.25
5	テレワークの導入の準備・労務管理	P.43
6	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.47
7	テレワークの導入の準備・労務管理	P.50
8	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.60
9	テレワークの導入の準備・労務管理	P.80
10	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.90
11	テレワークの導入の準備・労務管理	P.92
12	テレワークの導入の準備・セキュリティ対策	P.96

研究会の開催



# 就職関連情報の発信

＜経済産業部＞

## 本県で活躍したいと思う若者の増加に向けた取組

- 移住者の獲得に向けた県内の就職関連情報の発信を強化する取組
- 県外大学と連携した就職関連情報の発信や、首都圏在住の本県出身者に対するSNSによる情報発信
- 高校等卒業生全員にカード（ふじのくにパスポート）を配付し、QRからつながるホームページで情報登録することで、LINE等により、本県情報を継続的に発信

毎月新着情報をお届け♪

LINE 公式アカウント

県内高校等卒業生全員に配付♪

(カード表)

(カード裏)

ふじのくにパスポートとは？

静岡県

2019年春発行

http://www.fujinokuni-passport.com

# 技術専門校における情報産業分野の人材育成

＜経済産業部＞

## 技術専門校での情報処理技術者育成支援

- クラウドやビッグデータ活用等の新技術への対応が可能なITエンジニアの育成が必要
- 沼津技術専門校にて、高度情報処理社会に対応できるエンジニアを育成  
訓練生は「若年者ものづくり競技大会」に出場
- 子ども向けプログラミング体験教室の開催



# 先端技術を取り入れた農食連携ビジネスの促進

＜経済産業部＞

## AOI（アグリオープンイノベーション）プロジェクトの推進

- 先端技術を農業分野に活用し、飛躍的な生産性の向上と食品、健康など関連産業におけるビジネス展開の促進を目指す。
- 機能性の高い農産物や低コストで品質を高める栽培技術などの研究開発が実用化  
(例：血圧を下げる効果のある生食用ケール、高糖度トマトの安定生産が可能な給液制御システム)
- 農業情報科学(AI)を活用していちごやみかんの栽培技術の「見える化」を実現したAI学習支援システムの開発

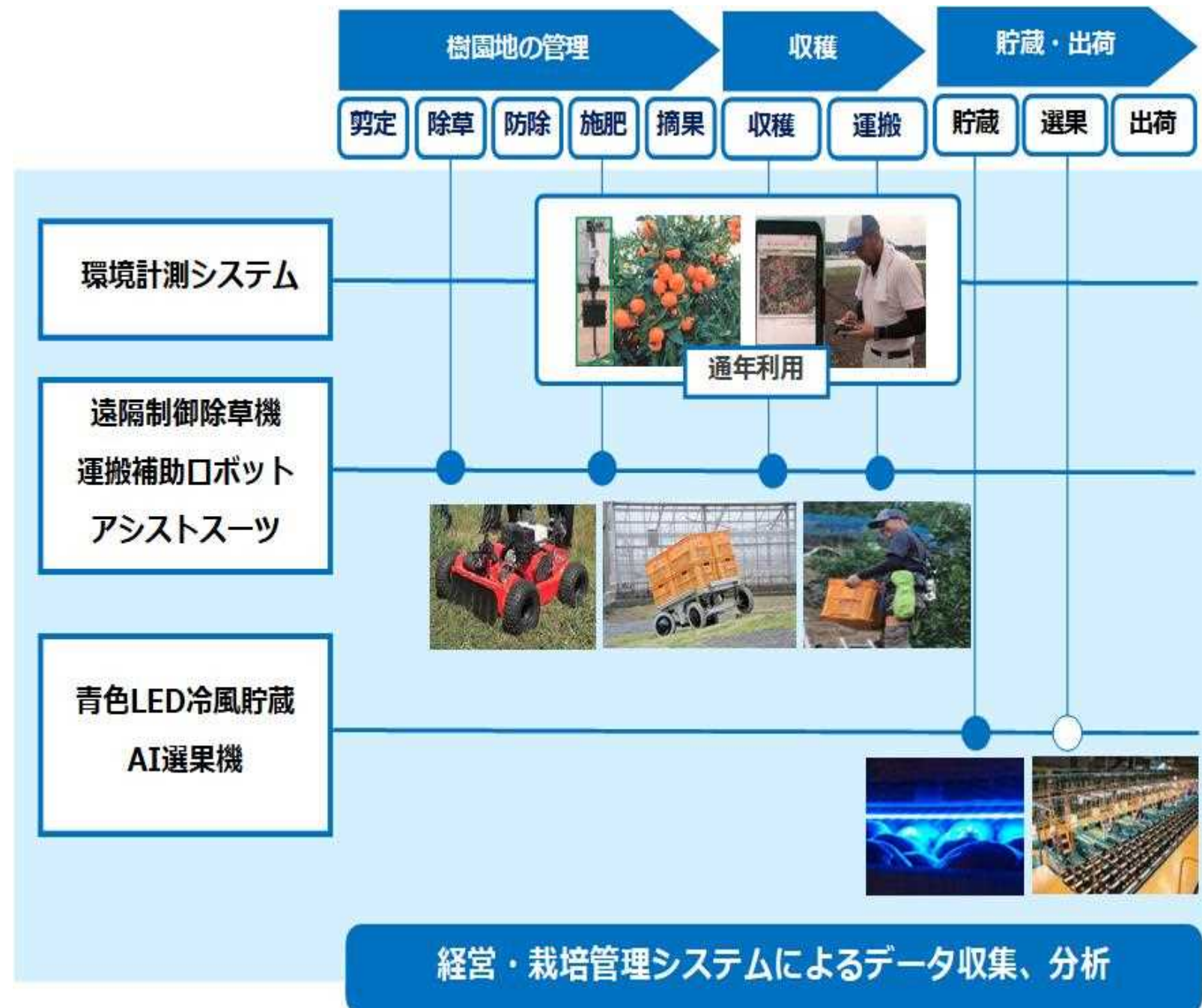


# 温州みかん産地におけるスマート農業の実証

＜経済産業部＞

## 作業時間の削減や軽労化等に向けてスマート農業技術を導入

- 中山間地域のみかん経営におけるスマート農業技術の導入効果の実証
- 運搬補助ロボットや遠隔制御除草機等の導入による作業時間の削減や作業の軽労化
- 環境計測システムを活用した栽培管理や貯蔵庫内への青色LED設置による腐敗果発生軽減などによる収益向上

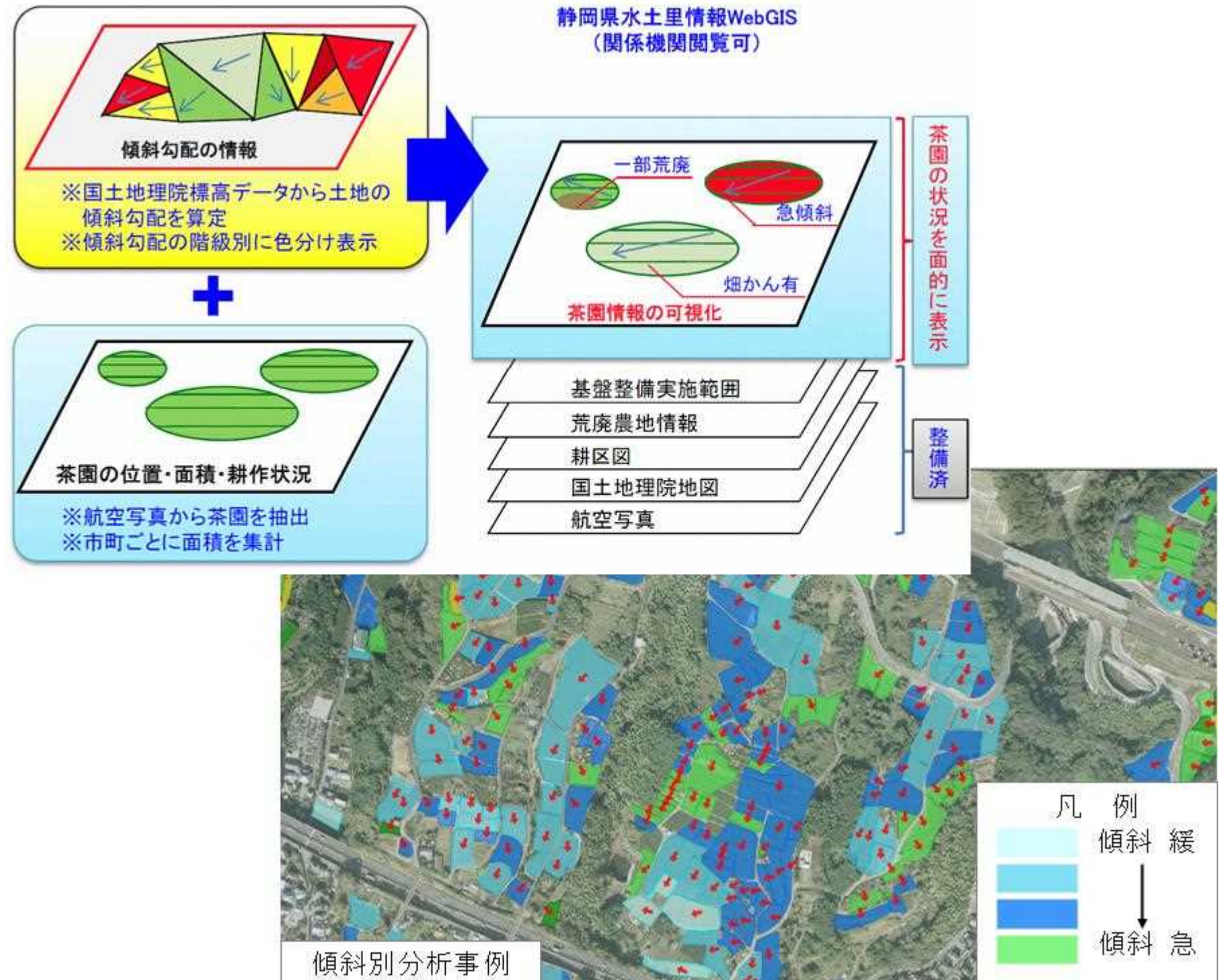


# GISの活用で茶園の基盤整備を推進

＜経済産業部＞

## 位置、傾斜勾配などの茶園情報をGISで可視化

- 主要な茶産地を対象に、面積や傾斜勾配などの茶園の基本情報を可視化
- 可視化した情報をもとに、生産性の向上や農地集積の効果が高い地域を選定
- 基盤整備を加速化し、茶園の生産性を向上





# 茶業におけるスマート農業の実証

＜経済産業部＞

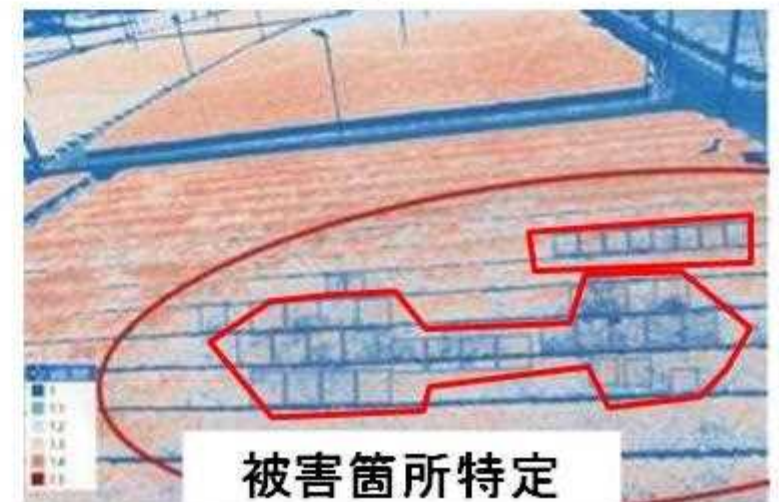
## スマート農業技術の導入により茶業経営を省力化

- 担い手の減少や高齢化による労働力不足等へ対応するため、「スマート農業」の社会実装を推進
- 茶園へのカメラ設置により分散した茶園の生育状況を把握
- ドローンを活用し害虫の被害箇所を特定、防除作業の軽労化に寄与

茶園へのカメラ設置



ドローンによる害虫被害診断

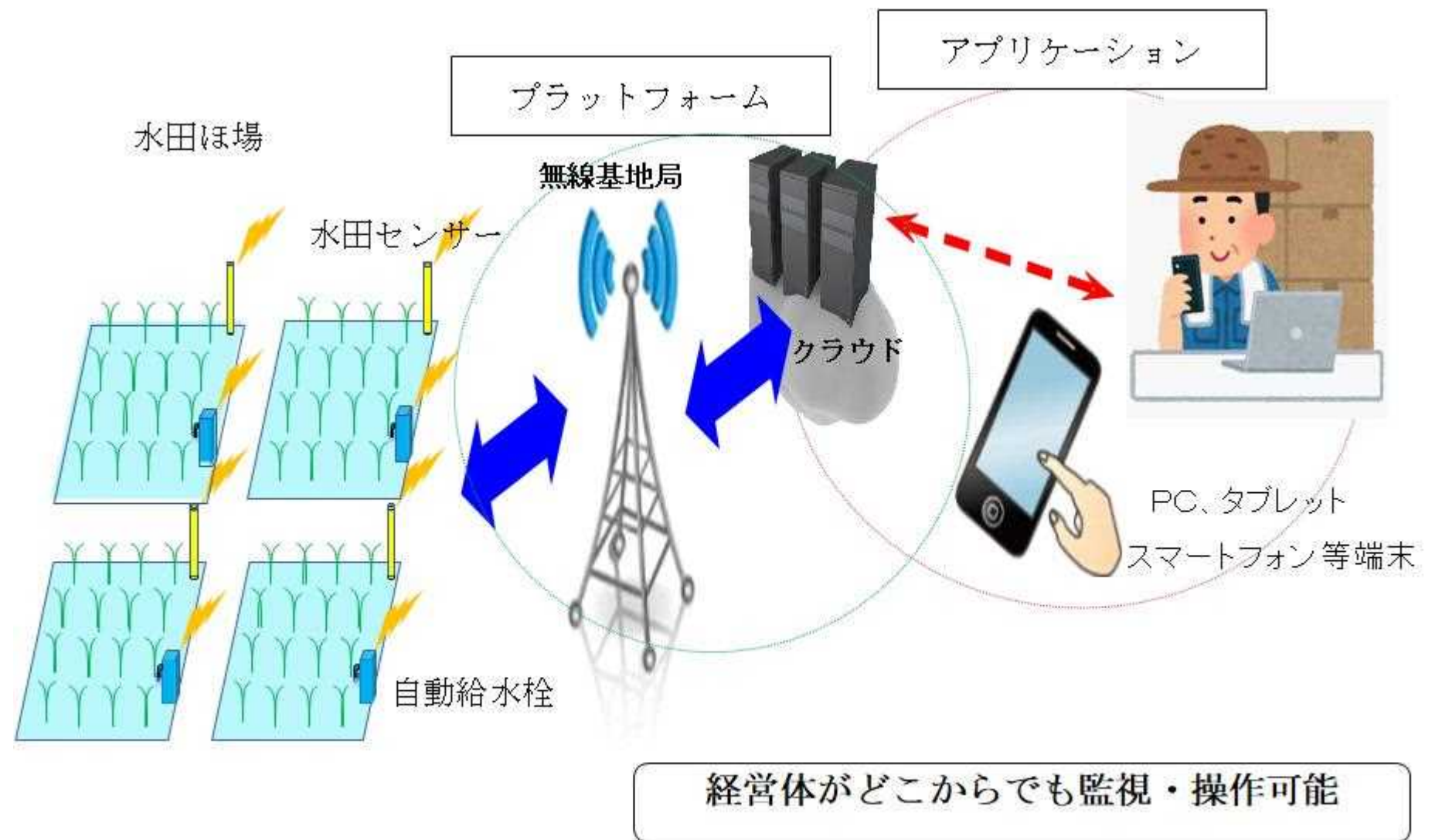


# ICTを活用した水田水管理システムの開発

＜経済産業部＞

## 遠隔制御システムの導入により水管理労力を軽減

- 磐田市、袋井市を実証フィールドとして新たな機器を研究開発
- システムの導入により、従来に比べ水管理時間を約7割削減
- 従来の機器（自動給水栓、水田センサー）に比べ、整備コストを約5割削減



# デジタル技術を活用した地籍調査の取組

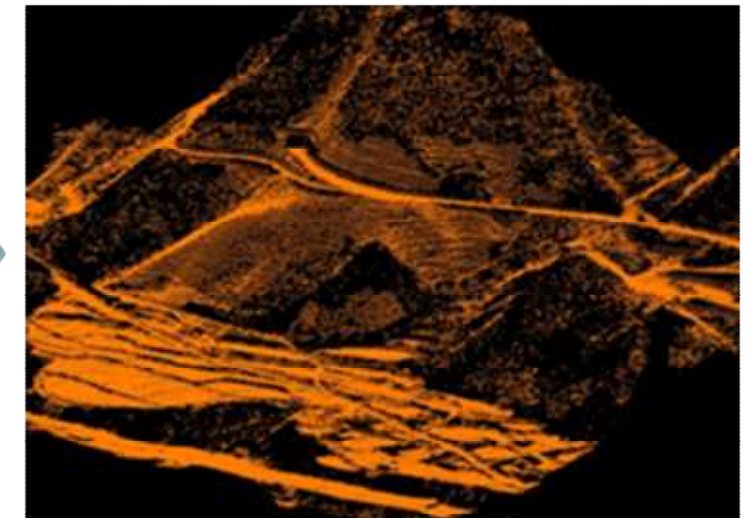
＜経済産業部＞

## リモートセンシング技術を活用した地籍調査

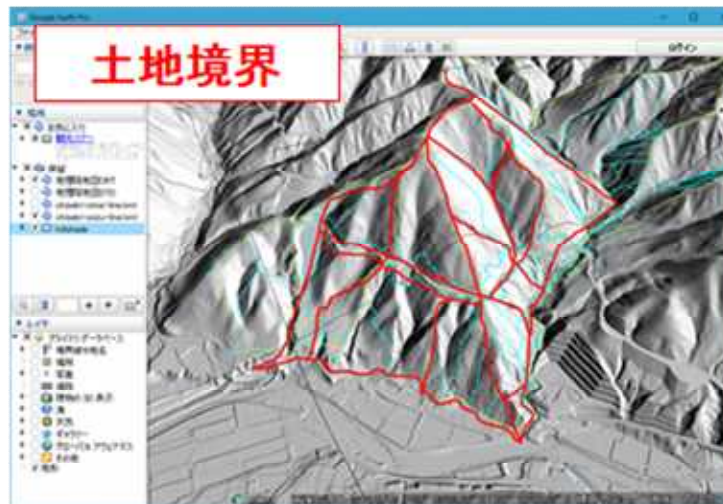
- 県民の安全・安心に向けた施策を一層推進するため、デジタル技術を活用し、地籍調査を効率的に実施
- 河津町において、交通基盤部が取得した3次元点群データを活用して、「山村部リモートセンシングモデル調査」を実施
- 下田市において、デジタルオルソ画像を活用して、津波浸水想定区域現況境界座標データ化のモデル調査を実施
- 今後はGISによる現況境界座標データ化調査を実施



(リモセンデータ取得)



(微地形図等作成)



(筆界案作成)



(集会所等で確認)

# GISの活用による高収益作物の生産拡大

＜経済産業部＞

## GISを活用した水田での野菜栽培可能地のゾーニング

- 国産野菜の需要の高まりを受け、高収益作物（露地野菜等）の生産拡大を図ることが重要。生産性が高い一定の団地化された畑地が少ない状況
- このため、水田において高収益作物が栽培できるよう、排水性や土質状況等をGISにより把握し、情報を可視化することで、簡易な整備により野菜栽培等が可能な区域の情報を早期に把握
- 担い手農家の営農計画策定や他地域からの企業的経営体の参入を支援

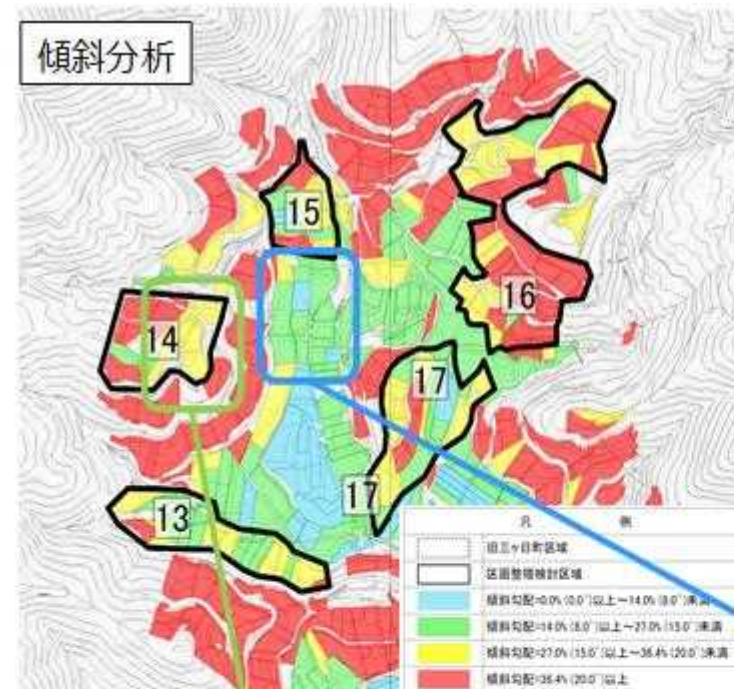


# GISの活用による労働生産性の向上

＜経済産業部＞

## GISを活用した柑橘園の生産性向上を図るゾーニング

- 柑橘栽培は、収穫や摘果など機械化が困難な作業が多く、薬剤散布や収穫物等の運搬の省力化により、労働条件の改善や生産強化が必要
- 地理情報システムGISを活用し、調査データ等をもとに「園内道整備によりスピードスプレーヤ（乗用型の農薬噴霧機）の導入が可能となる区域」や「区画整理により機械化が可能となる区域」を選定
- 基盤整備の事業化に向けた事業計画策定や担い手農家の営農計画策定を支援

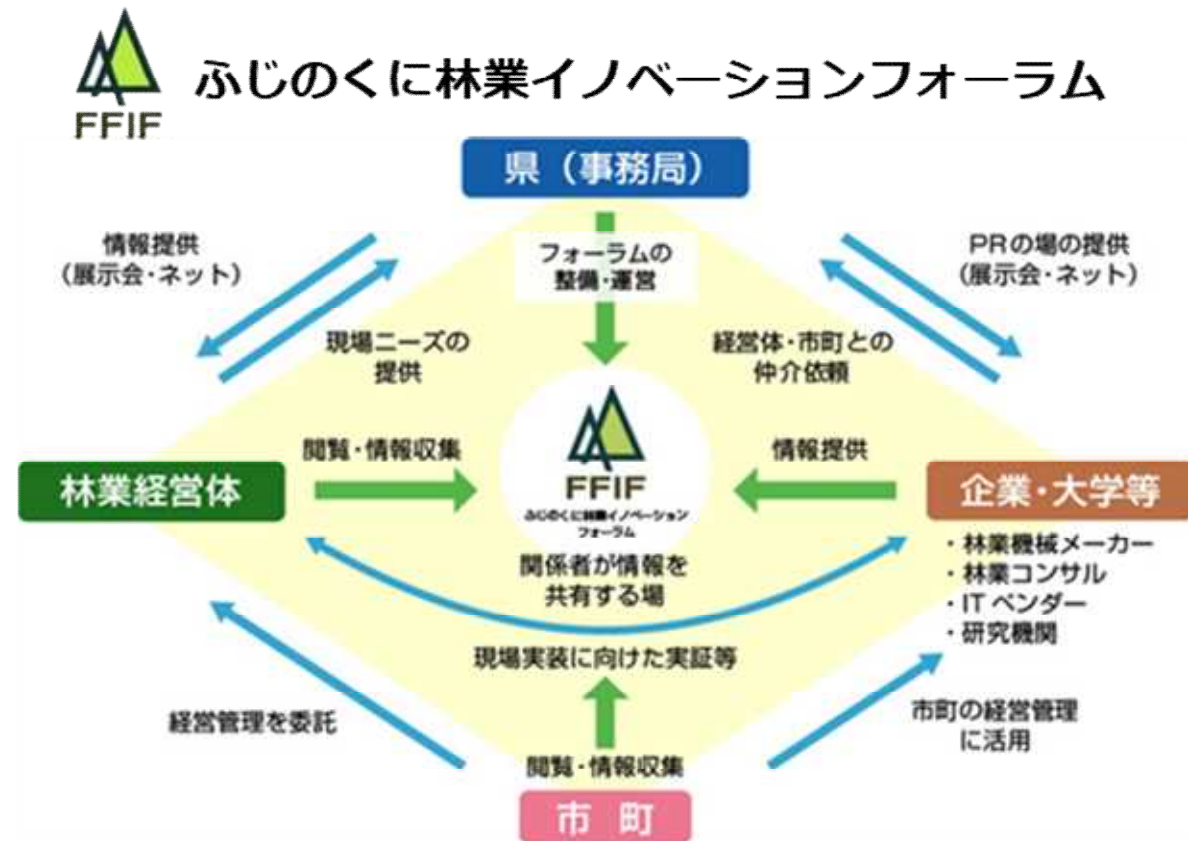


# 先端技術を活用した生産性向上

＜経済産業部＞

## 「ふじのくに林業イノベーションフォーラム」の設立

- 林業分野では、ICTやAI、ドローン等の先端技術を活用した技術開発が進んでいるが、現場と技術双方の理解不足から現場への導入が進んでいない。
- 産学官による「ふじのくに林業イノベーションフォーラム」を設立。先端技術企業や研究機関と林業経営体などがシーズ（技術）とニーズ（現場）の情報を共有する場を創設
- HPやSNS、オンラインの先端技術展示会等を通じて、先端技術企業と林業経営体のマッチングを進め、先端技術の実装に向けた現場実証等の取組を支援



HP・SNSでの情報共有



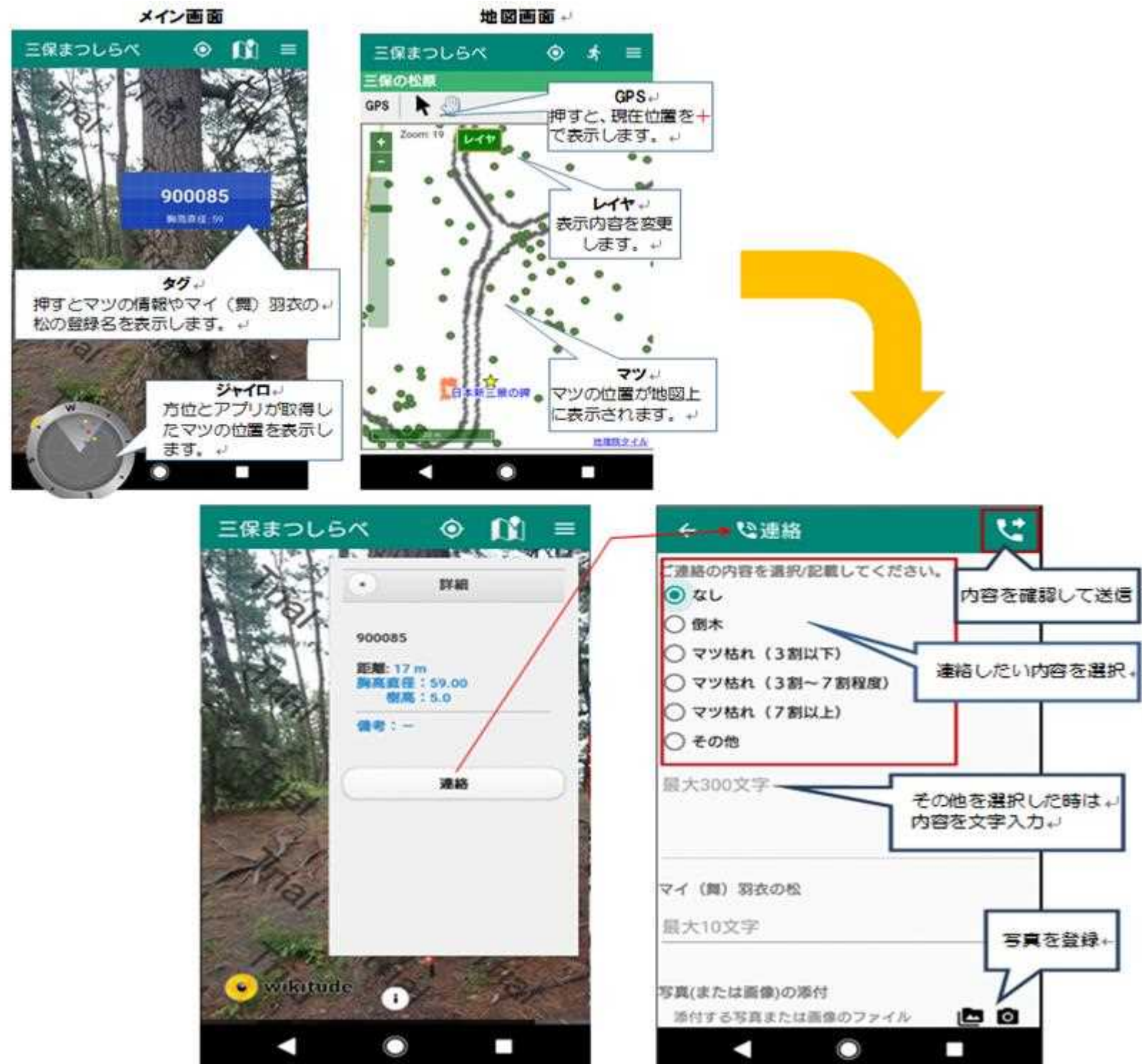
先端技術企業と林業経営体の現場実証支援

# 松林保全の促進・次世代への継承

＜経済産業部＞

## 三保松原の松林管理システムの開発

- 松林保全の技術的支援として三保松原松林管理システム『三保まつしらべ』を開発
- マツ1本1本の個体情報をデータベース化し、スマートフォン等で地図上に表示
- AR機能を用い個体情報を視認化し、マツに異常が発生した場合の特定及び通報できる環境を整備
- 本システムの活用により、松林保全をさらに促進・松原の次世代への継承へ



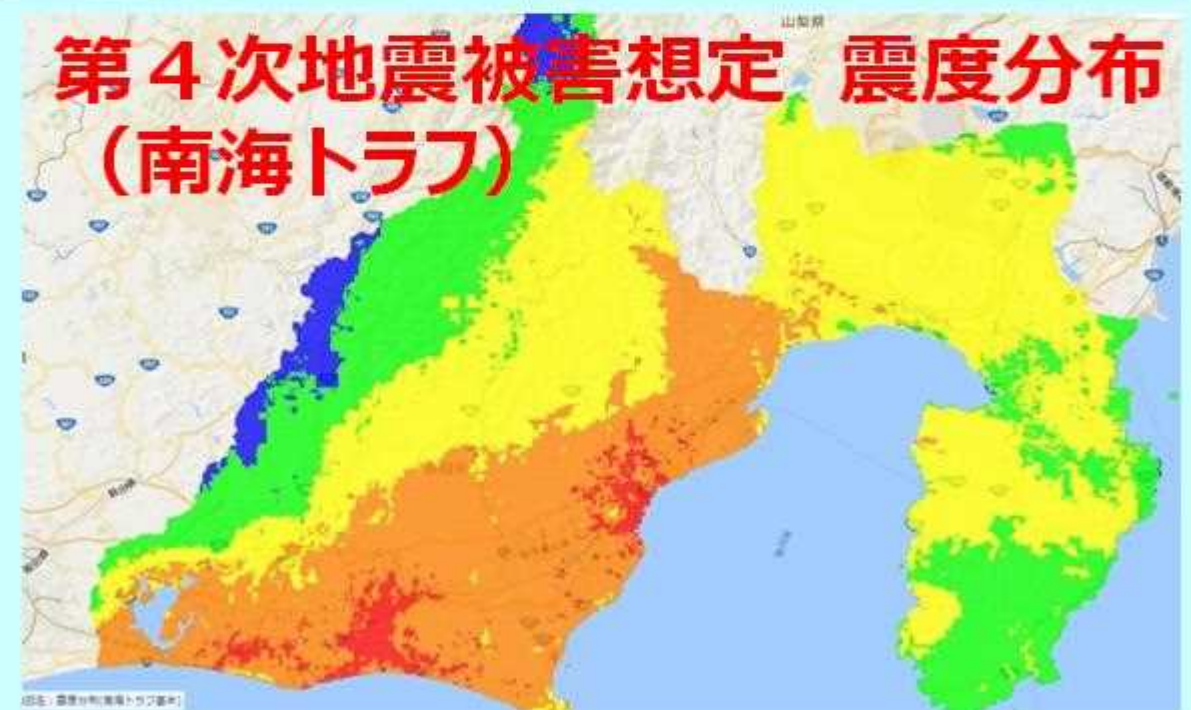
# 静岡県地理情報システム(GIS)の利活用促進

＜交通基盤部＞

## GISを活用した情報の共有

- 静岡県GISは約60件の地図コンテンツをインターネットで公開、可視化による情報の明瞭化を図る。
- 防災関係（ハザードマップ・洪水浸水想定区域図等）、観光（埋蔵文化財マップ等）、道路情報（道路台帳・自転車ロードマップ）等を掲載
- 今後は静岡県GISの県民の認知度向上と、利用率増加に向け、新規コンテンツを登載するとともに、各種イベントにおいてGISをPRする。

### 地図の種類(例)





# 3次元点群データの利活用促進

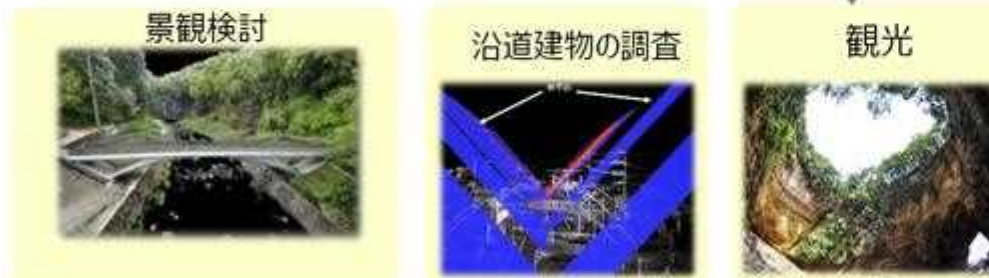
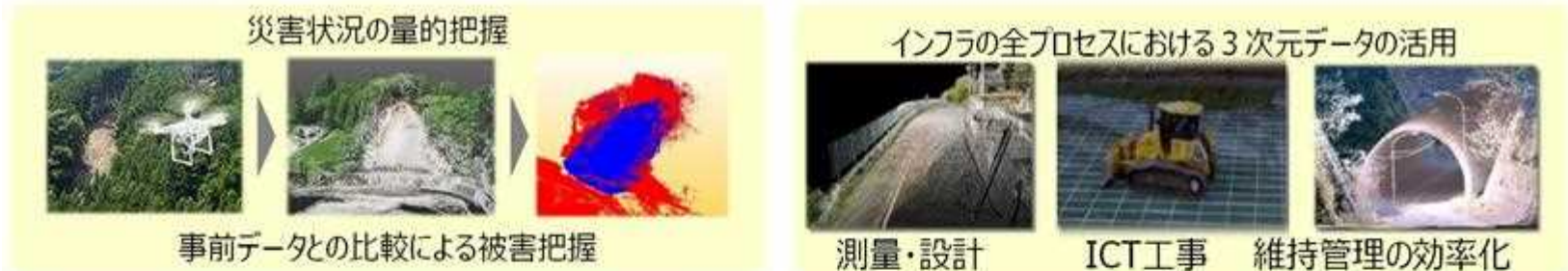


<交通基盤部>

## 仮想3次元静岡県構想 (VIRTUAL SHIZUOKA)

- ICT活用工事や航空レーザー測量で、3次元点群データを取得・蓄積
- オープンデータ化し、誰もが自由に使える仮想空間の「データセット」として提供
- 今後はデータを活用した「新たな取組」を推進  
(例:観光VR、津波浸水想定での3次元化等)

<データ活用イメージ>

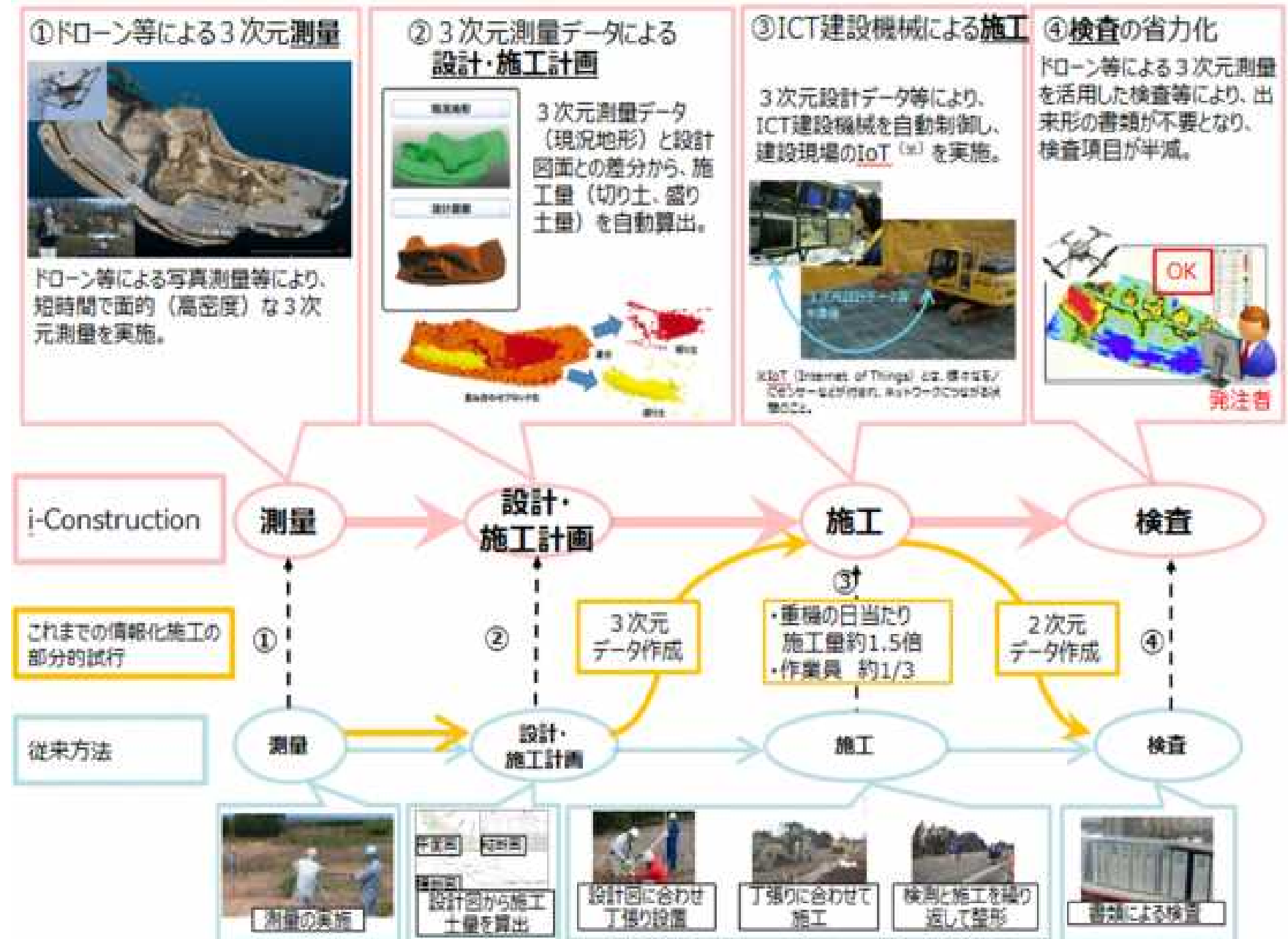


# 建設現場におけるICTの全面的活用に向けた取組

＜交通基盤部＞

## ICT活用工事の実施と効果の周知

- 測量や工事施工管理の効率化に向け、ドローンやレーザー scanner等の活用に関する県独自の制度や基準を整備
- ICTを活用した工事を実施し、その効果を周知
- 3K(きつい、汚い、危険)の解消、新4K(給料、休暇、希望、きれい)の実現により若者や女性に魅力のある業種への転換を図る



# 自動運転技術の活用

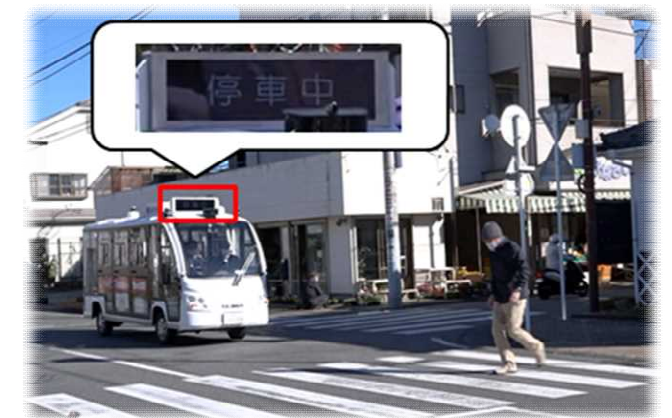
<交通基盤部>

## 自動運転実証実験の実施

- 自動運転等の最新技術を活用した移動サービスの導入により、地域住民の移動手段の確保などの地域交通の課題解決を図る取組
- E V等の次世代自動車及び自動運転車両の研究による県内企業の技術開発を促進
- 2024年度に自動運転移動サービスの実現を目指し、地域性の異なる公道で実験を実施（課題解決に向けた検証）



▲伊豆高原駅内に設置した遠隔監視室



▲横断者に対する意思表示

# 水位計観測データの活用

＜交通基盤部＞

## 危機管理型水位計<sup>(※)</sup>の導入とデータ提供

- 河川の水位データは、県のサイポスレーダーにより防災情報として公表中
- 新たに危機管理型水位計を設置し、県民への防災情報の提供を拡充
- データの蓄積を進めるとともに、観測データの検証を実施
- さらに、データを関係市町へ提供し、避難警戒情報の目安とする水位の設定などに資するよう支援



(※ 洪水時のみ水位を観測する水位計)

# 管路情報システムによる被災情報の配信

＜企業局＞

## G I S (静岡県地理情報システム) を活用した 災害時における管路情報システムの利用推進

- 大規模災害被災時に早期の事業再開を目指す受水企業や市町へ管路等の復旧情報の提供が目的
- 令和元年の台風19号の際、管路情報システムを用いて被災状況や復旧状況の画像等をリアルタイムにアップロードし、復旧情報の円滑な提供に寄与
- システム及び利用方法の周知を徹底。防災訓練時にシステムを活用した情報発信と利用者の情報共有状況の確認を実施

企業局災害時管路情報システムとは 静岡県企業局

**1** 断水かな...  
と思ったら、下記にアクセス  
<https://shizuoka.gisadmin.geocloud.jp/webgis/login.html> 若しくは以下バーコードリーダーからログイン画面にアクセス  
IDとパスワードを入れて、OK

**2** 企業局災害時管路情報システムに飛びます。  
断水情報をスマホやパソコンで確認できます。  
地図上で断水情報が確認できます。

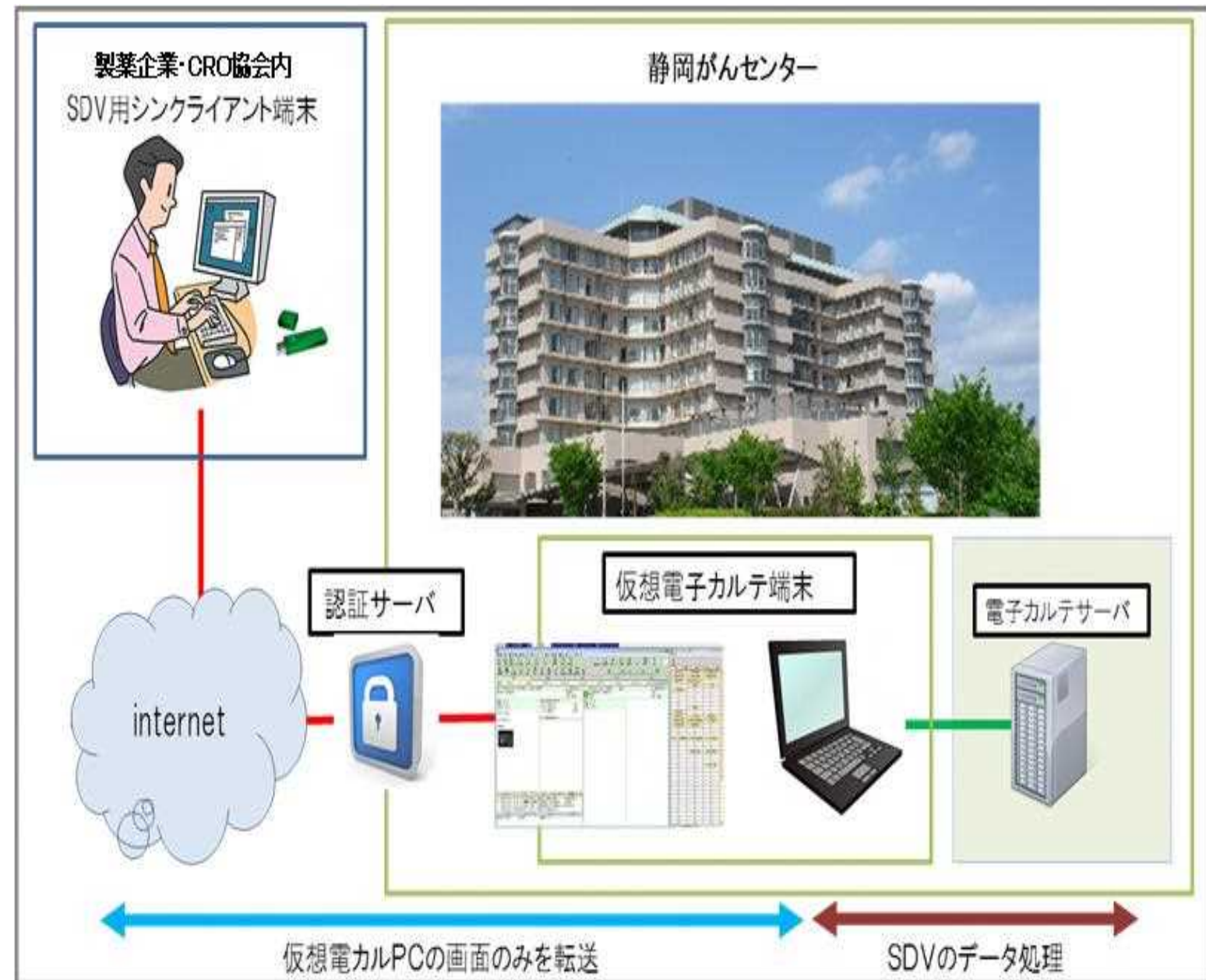
**3** 復旧見通しなども確認できます。  
漏水箇所をクリックすると  
作業状況  
作業中  
復旧見通し  
2017年3月2日15:00頃復旧予定  
関連機関との調整  
済  
状況写真  
詳細な情報が表示されます  
3月2日の午後に復旧するんだな...

# 治験参加製薬会社による電子カルテ閲覧システム

〈がんセンター局〉

## 製薬会社向け治験情報リモート閲覧システムの稼働

- 治験参加製薬会社が患者の診療情報を確認するためには、静岡がんセンターにある治験情報閲覧システムを利用しなければならなかった。
- 治験業務の効率化のため、2012年6月からリモート閲覧システムを稼働
- 治験参加企業の3割程度が利用。負担が軽減され、業務の効率化に貢献

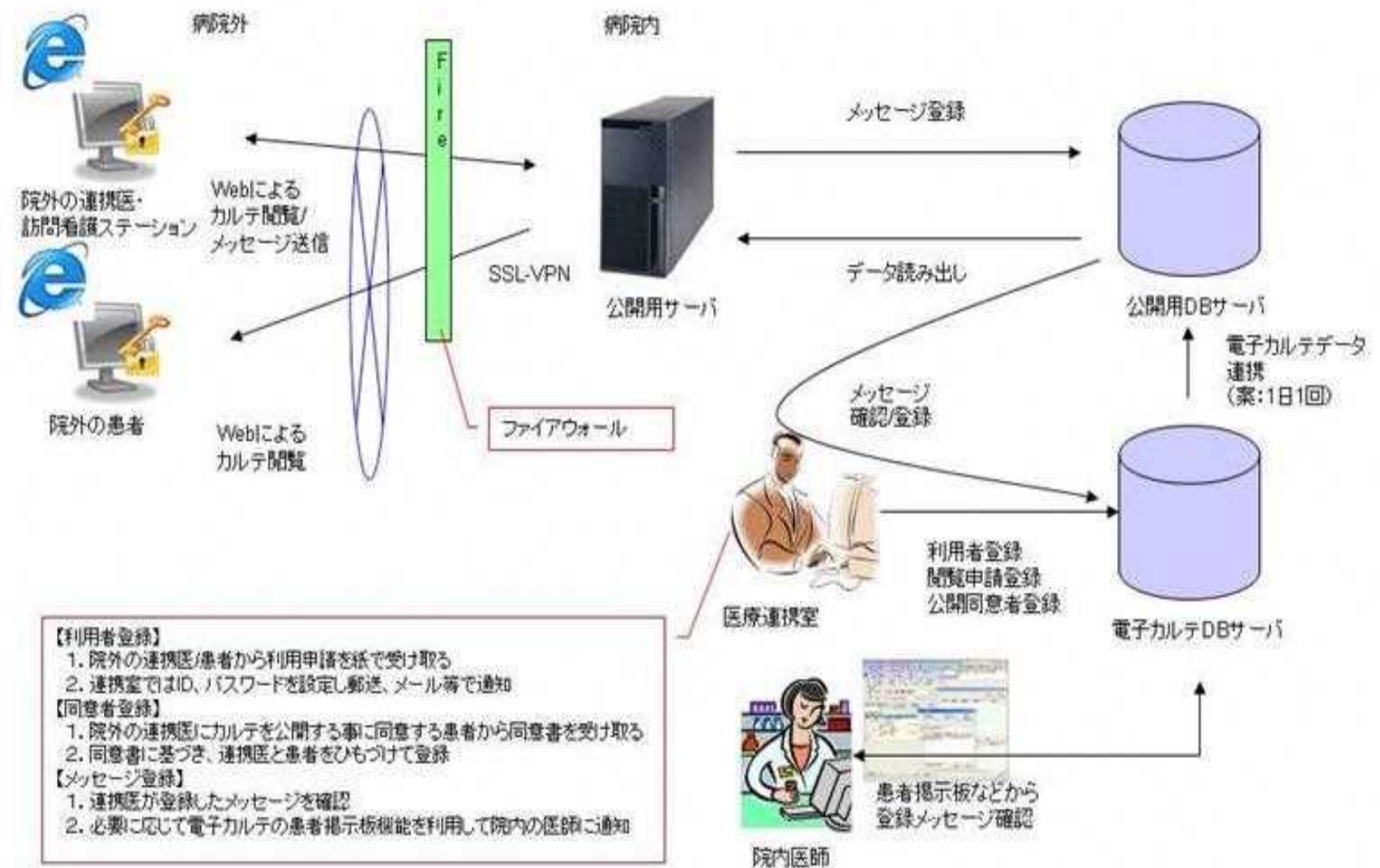


# 医療連携カルテ閲覧システム

〈がんセンター局〉

## 退院患者フォローアップのためのカルテ閲覧システム

- 静岡がんセンターでの治療が終了し、在宅に戻った患者や転院した患者をフォローするため、外部の病院・薬局等が、静岡がんセンターのカルテ閲覧を可能とするシステムを構築
- 2011年11月から運用を開始。(令和2年度末で201人が利用)
- HPで情報を発信し、更なるシステム利用を促進



医療連携カルテ閲覧システム概要図

# 病院情報システムの利用

<がんセンター一局>

## 電子カルテシステム等による業務効率化

- 電子カルテシステム、医事会計システム、薬剤システム等を運用し、病院業務を効率化
- 患者の診察待ち、会計待ち、薬の受け取り待ち時間などを短縮し、負担軽減に寄与
- 医療従事者の負担も軽減され、患者と向き合う時間の確保やサービス向上につながっている。





### 「手話通訳」を挿入した中継映像の配信

- 議会ホームページ上で配信している本会議のインターネット中継に令和元年6月から手話通訳映像を挿入
- 令和2年度からは、中継映像のデジタル化を行い、手話通訳映像を鮮明化



# ICT活用支援ポータルサイト

＜教育委員会事務局＞

## ICTスキルに係る「スーパー先生」による講義の共有

- 教職員によるICTを活用した指導を支援するため、クラウドサービスの利用方法や各学校から収集した電子教材を掲載したサイトを公開
- 県立学校だけでなく、市町立や私立の学校も利用可能
- 動画 計31本  
電子教材 計261本



(トップ画面)



(スーパー先生講義動画)



(教材共有サイト)



(電子教材プレビュー)

# 学力向上や教育課題の解消に向けたICT教育

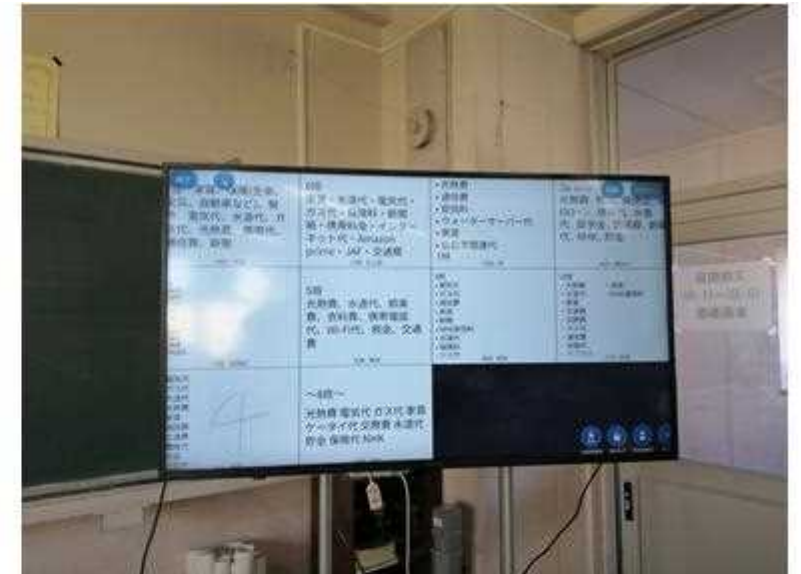
＜教育委員会事務局＞

## G I G Aスクール構想の実現に向けた取組

- G I G Aスクール構想の実現と新学習指導要領におけるICTを活用した授業改善や教育課題の解消に向けた取組
- 遠隔通信システムを導入し、遠隔授業や講演の聴講、大学や企業との連携など、効果的な活用について研究
- 教育活動の拡大(他校との生徒間交流等)だけでなく、学校運営の効率化も実現



オンライン学習のためのICT機器整備



大型モニタを使った授業



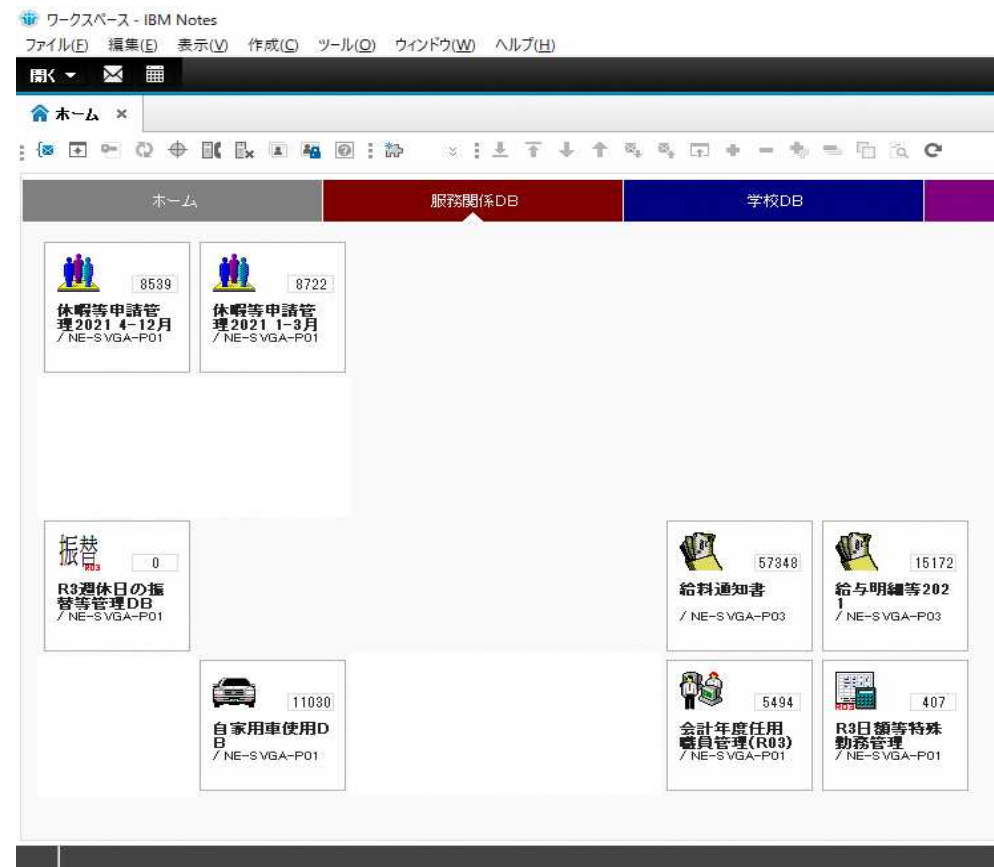
プロジェクタを使った授業

# 校務・事務の情報化及び負担軽減

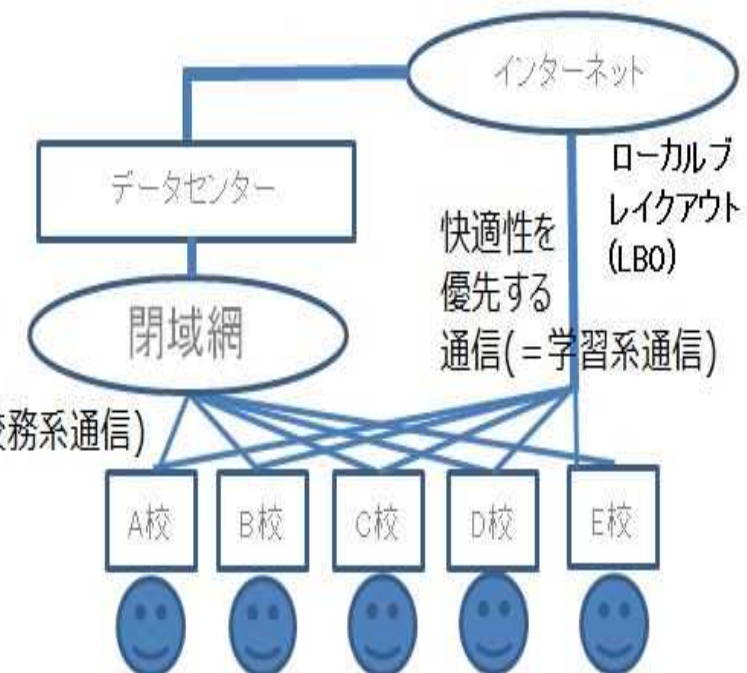
＜教育委員会事務局＞

## 県立学校統一の校務支援システムの導入

- 校務の情報化の推進と業務の効率化に向け県立学校統一の校務支援システムを導入
- データセンターを中心とした集中管理により、学校での機器管理の負担軽減とセキュリティ向上を実現
- 教職員が子どもと向き合う時間の拡充や教育の質の向上に寄与



安全性を優先する通信(=校務系通信)



(データセンターを中心とした集中管理)

# 体系的な情報モラル教育の推進

＜教育委員会事務局＞

## 学校、家庭、地域が連携した情報モラルの育成

- 教育のICT化の推進と併せ、正しく安全なネット利用の促進を図る。
- スマートフォン等の使用方法や使用時間について、家庭内でルールを作り、子供が自主的にルールを守るよう、アドバイザー等を活用して啓発
- インターネット接続機器の危険性やトラブル事例と対処方法を講座等を通じてわかりやすく紹介

### ネット依存チェックシート

ネット依存のチェックをしてみましょう！  
次の質問の中で、あなたに当てはまるものはいくつありますか？

ネットで利用する機器には、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインで使用する機器のすべてが含まれます。

質問	
1 あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか？（たとえば、前日にインターネットをしたことを考えたり、次回インターネットをすることを待ち望んでいたり、など）	✓
2 あなたは、満足を与えるために、インターネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか？	✓
3 あなたは、インターネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことがたびたびありましたか？	✓
4 インターネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとした時、落ち込みや落ち込み、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感ずりましたか？	✓
5 あなたは、使いはじめに意図した（※）より長い時間インターネットを接続した状態ですか？ ※「意図した」＝「考えた」	✓
6 あなたは、インターネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、おやうくするようなことがありましたか？	✓
7 あなたは、インターネットへの熱中のしすぎをかくすために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか？	✓
8 あなたは、問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使いますか？	✓

チェックの数が 0～2個 ○  
問題ありません。今の使い方を続けてください。

チェックの数が 3～4個 △  
あなたは少しネットを使い過ぎています。注意しましょう。

チェックの数が 5個以上 ×  
あなたはネットを使い過ぎです。「ネット依存」が疑われます。

### ネット依存大丈夫ですか？

家庭でネット依存対策をはじめましょう。

静岡県教育委員会  
社会教育課  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL:054-221-3312 FAX:054-221-3362

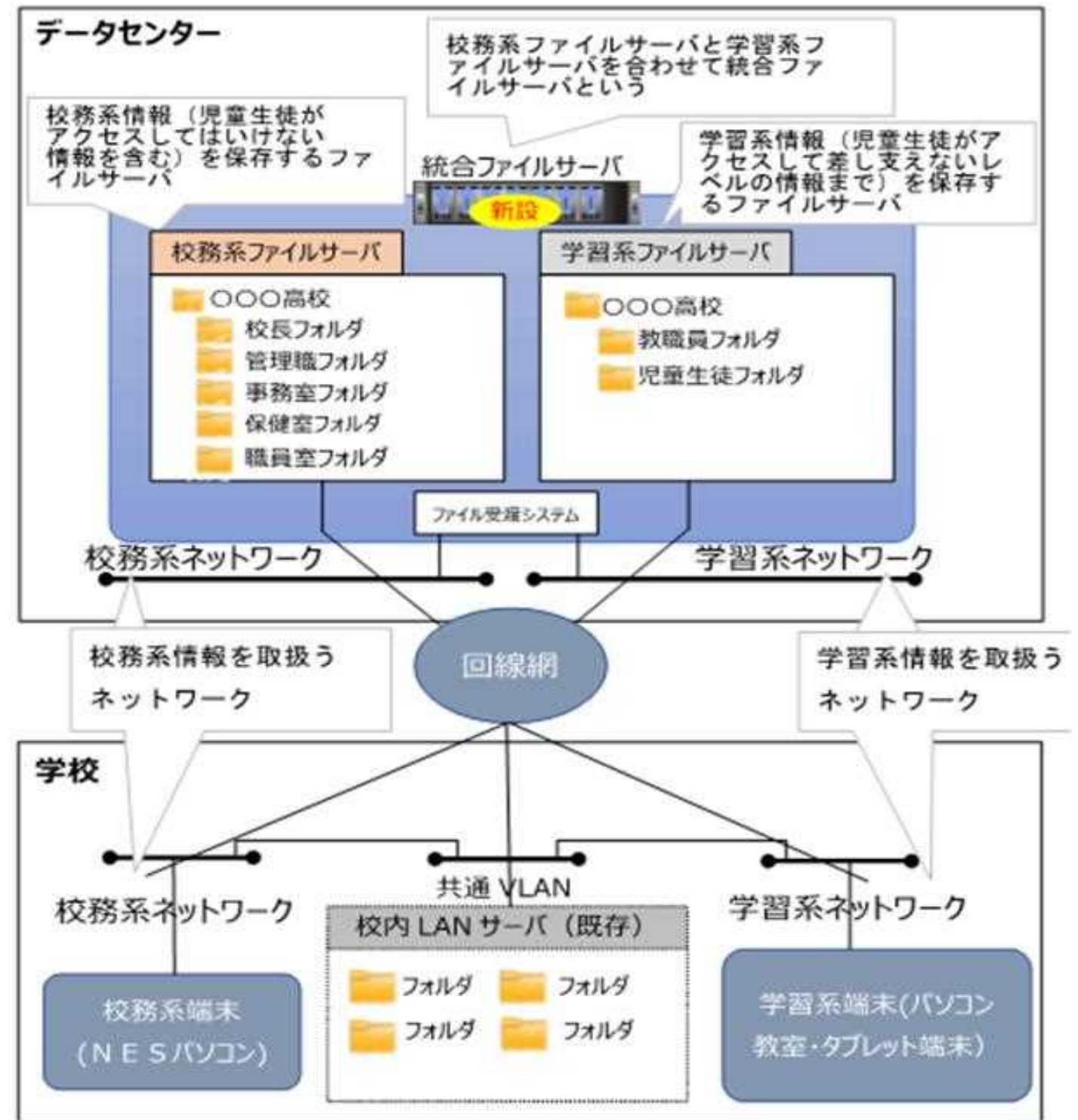
ネット依存対策リーフレットを作成し、県内すべての小学5年生～高校3年生に配布

# 情報セキュリティに対応したシステムの構築

＜教育委員会事務局＞

## 統合ファイルサーバの構築

- 各学校で対応していた校内LANサーバの管理・運用に係る負担や情報管理上のリスクの解消が目的
- 統合ファイルサーバを構築し、校務系情報資産と学習系情報資産を分離して適切に管理
- 職名に応じてアクセス権が異なる複数のフォルダを学校ごとに用意し、自所属のフォルダのみアクセス可能

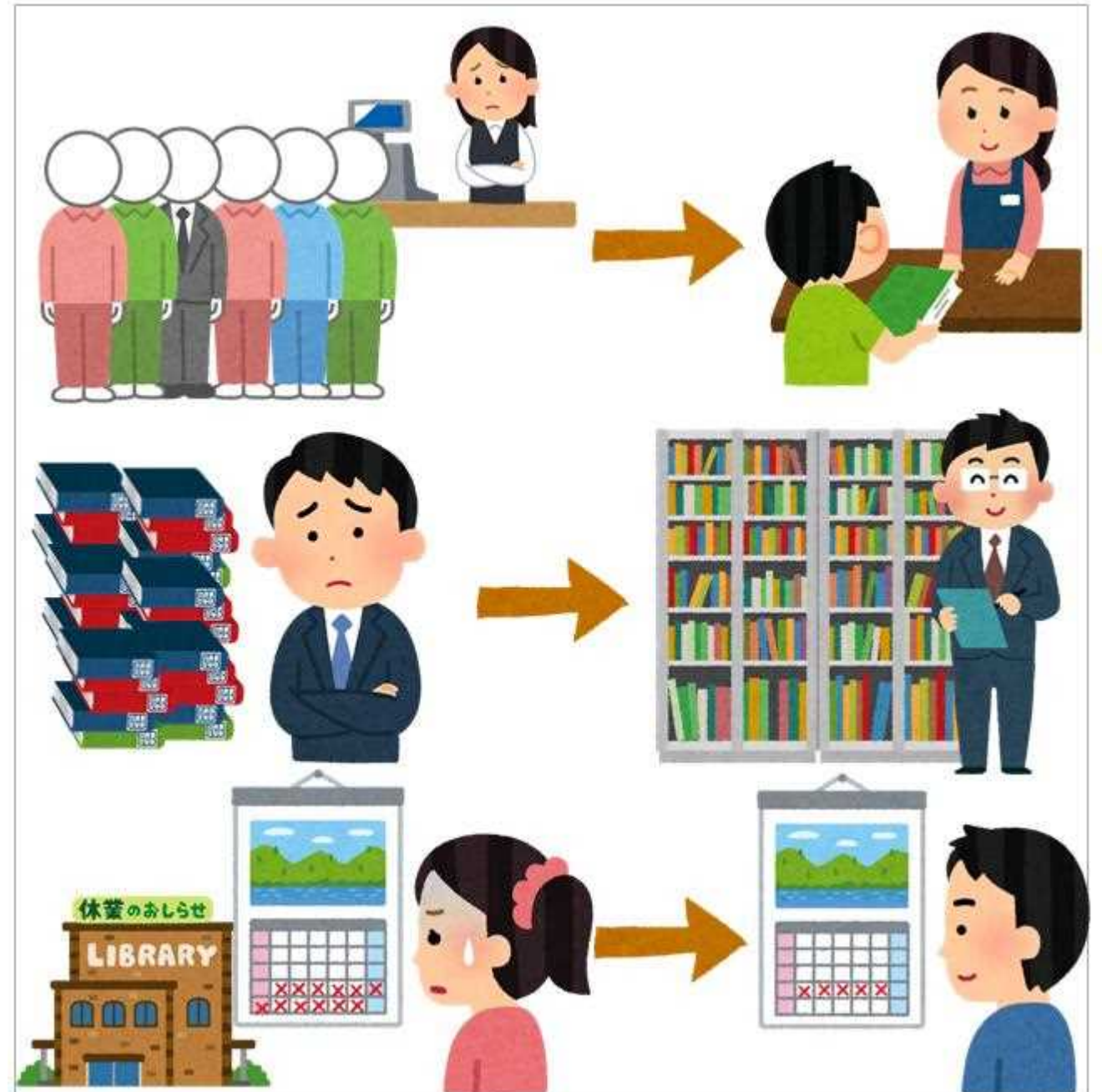


# 貸出手続きの効率化

＜教育委員会事務局＞

## RFIDを利用した蔵書管理の推進

- 図書館の資料の貸出や返却は職員が手動で対応。混雑する時間帯は、カウンターに行列が発生
- 新県立中央図書館管理運営計画においてRFIDを利用した蔵書管理を推進。自動貸出機等による資料の適正管理や効率化の実現を図る。
- また、点検時間の短縮も期待できることから、開館日数の増加も目指す。



※ RFID:Radio Frequency Identificationの略。

ID情報等を埋め込んだタグから、電波などを用いて近距離の無線通信により情報の交換を行うこと。

# 閲覧者ファーストの情報提供

＜教育委員会事務局＞

## ホームページの全面改修

- 若手職員からなる局内横断チームを立ち上げ、ホームページの改修等を実施
- Webアクセシビリティの配慮不足等により、閲覧者にとって利用しにくいページがないか検討
- 全てのページについて、必要性の有無や掲載内容を改めて確認（トップページの改修、各課ページの統一、公立学校の魅力紹介などを新設）



～閲覧者ファーストの視点で「見やすく」「使いやすく」「伝わりやすく」～